



今週のPOINT

国内株式市場

イベント目白押しの中、主要企業の決算を受けた個別物色活発化へ

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

TWOSTONE&Sons【グロース 7352】ほか

テーマ別分析

IT人材不足が深刻化、関連サービスに商機

話題のレポート

社員1人当たり売上・営業利益が大きい会社

スクリーニング分析

200日移動平均線を支持線としたリバウンドの動きに注目

日経平均は1年4カ月ぶりに200日線にタッチ

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3
			新興市場	4
		米国株式市場		5
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6
2	マーケットを読む	今週のポイント		7
		日経平均株価		8
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	令和アカウンティングHD〈296A〉グロース	9
			ラクス〈3923〉プライム	10
			レゾナックHD〈4004〉プライム	11
			ラウンドワン〈4680〉プライム	12
			CKD〈6407〉プライム	13
			TWOSTONE&Sons〈7352〉グロース	14
			加賀電子〈8154〉プライム	15
			東京建物〈8804〉プライム	16
		読者の気になる銘柄	ディスコ〈6146〉プライム	17
			りそなホールディングス〈8308〉プライム	17
		テクニカル妙味銘柄	ニトリホールディングス〈9843〉プライム	18
			ミニストップ〈9946〉プライム	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19
		スクリーニング分析		20
		先週の話題レポート		21
		信用需給動向		22
5	連載コラム			23

イベント目白押しの中、主要企業の決算を受けた個別物色活発化へ

■週後半にかけ AI・半導体関連中心に下げ幅を広げる

先週の日経平均は前週末比 2631.13 円安（-4.0%）の 62693.16 円で取引を終了した。週前半は、外部環境の不透明感が増す中も底堅い動きとなった。週初は、米コアウィーブがあらためて急落したことで人工知能（AI）過剰投資への懸念が再燃したほか、原油先物相場の上昇も重なり売りが先行、ただし安値圏からは下げ渋った。その後も AI 関連株の不安定な動きは続いたが、週央にかけては、米スペース X の好決算が国内 AI・半導体関連株に波及する場面も見られた。

週後半にかけては、AI・半導体関連を中心に下げ幅を広げる動きとなった。米国では、半導体製造装置のラムリサーチが決算発表後に時間外取引で下落したほか、メタ・プラットフォームズもキャッシュフローが赤字転落となり、AI 過剰投資への警戒感につながった。22 日の日経平均は前日比 1713 円と大幅安となった。週末 23 日にも一時 1445 円安となり、9 月 14 日の安値を割り込んで、7 月 30 日以来の安値水準まで下落した。ただ、同日は時間外での米国株の戻りが鈍い中でも安値水準から大きく下げ渋って取引を終えている。

■各国金融政策会合や国内外決算発表などイベント目白押し

先週末の米国株式市場は下落。ダウ平均は前日比 652.82 ドル安の 52215.16 ドル、ナスダックは同 53.52 ポイント安の 25955.34 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値比 270 円安の 62640 円。イランがタンカー攻撃を強めるなど、中東情勢の緊迫化を映して原油価格が上昇し、景気敏感株を中心に売り圧力が強まった。一方、半導体株指数（SOX 指数）が反転するなど、ナスダックの下げは小幅にとどまった。

今週は日米欧で金融政策イベントが開催されるほか、米国では主要企業の決算発表が佳境を迎え、国内でも 7-9 月期の決算発表が本格化する。非常にイベントが多く、少なくとも全体相場の方向性が定まるような展開にはなりにくいと考えられる。ちなみに、来週には米中間選挙も予定されている状況にある。とりわけ、米メタが決算発表後に大きく売り込まれていることから、アルファベット、マイクロソフト、アマゾンなどの決算内容、設備投資計画に関心が高まる公算で、これらは AI 関連株の動きを通して、全体相場の行方を左右するものとなる可能性もある。決算数値への期待感が高まっていること、競合との比較から考えて投資の抑制策を取りにくいこと、さらには米中間選挙の結果次第では AI 開発抑制の機運が強まる余地があることなどから、やや慎重な見方を先行させたいと判断する。

海外企業決算ではその他にも、国内関連企業に幅広く影響を与えそうな銘柄の発表が多い。個別物色の動きはかなり活発なものとなりそう。国内でも半導体株を中心に決算発表が目白押しで、信越化学工業<4063>、アドバンテス<6857>、ルネサ

スエレクトロニクス<6723>、イビデン<4062>、東京エレクトロン<8035>、キオクシアホールディングス<285A>、レーザーテック<6920>、SCREEN ホールディングス<7735>などが予定されている。ただ、足下での AI・半導体株の調整は、1 株当たり利益（EPS）の低下ではなく、バリュエーションの調整によって起こされているものであり、よほどの決算サプライズがない限りは、海外 AI・半導体大手の株価動向がカギを握ることにはなろう。

■各国金融政策イベントにサプライズは限定的か

米連邦公開市場委員会（FOMC）、欧州中央銀行（ECB）理事会、日銀金融政策決定会合が揃って開催されるが、いずれも今回は政策金利の据え置きが決定される見通し。一方、それぞれ次回会合で利上げを実施するとの見方は多いと考えられるが、米中間選挙を控えている現段階で、その見方に変化が生じる可能性も低いといえよう。短期的には総裁や議長のスタンスに株価が一喜一憂しても、それは限定的なものにとどまる公算が大きく、あくまで米中間選挙後の中東情勢や原油相場の変化が 12 月の金融政策のカギを握ることになる。ただ、日米当局者のスタンスの違いが鮮明となれば、ドル・円相場に与える影響が強まる可能性には留意したい。

なお、先週末の引け後にファナック<6954>が決算発表を行っているが、通期業績予想は市場コンセンサスを上回る水準にまで上方修正しており、7-9 月期受注高も前四半期比で一段と拡大、半年ぶりの安値水準にまで売り込まれていた中では、ポジティブなものだと判断される。

■日米欧で金融政策イベントが開催

今週、国内では、27 日に 9 月企業向けサービス価格指数、29 日に 10 月消費動向調査、30 日に 9 月鉱工業生産、9 月商業動態統計、9 月失業率・有効求人倍率、10 月東京都区部消費者物価指数が発表される。なお、29 日から 30 日にかけて日銀金融政策決定会合が開催され、30 日には植田総裁の会見、並びに展望レポートが公表される。

海外では、26 日に独・10 月 Ifo 景況感指数、27 日に米・8 月住宅価格指数、8 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、9 月耐久財受注、9 月新築住宅販売件数、10 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、29 日に米・7-9 月期 GDP、9 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、30 日に欧・7-9 月期ユーロ圏 GDP、9 月ユーロ圏失業率、米・10 月シカゴ購買部協会景況指数などが発表される。27 日から 28 日にかけては FOMC、28 日から 29 日にかけて ECB 理事会が開催され、28 日にはウォーシュ連邦準備制度理事会（FRB）議長、29 日にはラガルド ECB 総裁の会見が予定されている。なお、26 日から 29 日にかけて、中国で 5 中全会が開催される。

もみ合いか、金利低下が地合い悪化の歯止め、TOPIX 新規採用にも注目

■TOPIX新規採用と7-9月期決算が焦点に

今週の新興市場はもみ合いが予想される。プライム市場で生成 AI 関連株を中心に下落したことで、投資家のリスク負担能力が減退しており、グロース市場でも Terra Drone<278A>、アストロスケールホールディングス<186A>といった短期筋に人気の防衛・宇宙関連銘柄は、売買が盛り上がりにくそうだ。ただ、一時 3.1%を超えた 10 年物国債利回りは、先週末 23 日に 2.755%まで低下しており、金利上昇懸念の後退が地合い悪化の歯止めとなろう。また、今週後半から 7-9 月期決算発表が本格化することもあり、相場全体の地合いや物色テーマによらず好業績銘柄を一本釣りする展開が予想される。

一方、30 日には TOPIX の定期銘柄入れ替えが初めて実施される。TOPIX 選定基準の見直しに伴い、グロース市場からはトライアルホールディングス<141A>、ジーエヌアイグループ<2160>、タイミー<215A>、GO<581A>など 12 銘柄が採用される。TOPIX 連動型ファンドなどによる新規組み入れ銘柄取得は 29 日大引けと見込まれ、その前には先回り買いが予想される。ただ、TOPIX 組み入れが終わると、好材料出尽くしから売られるリスクもありそうだ。

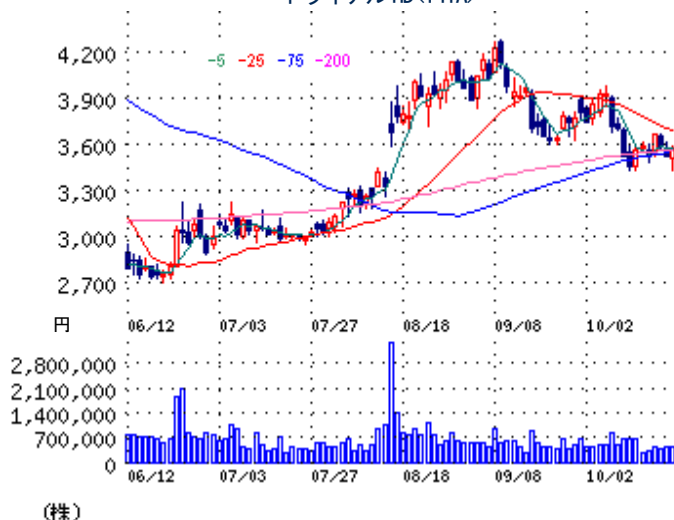
先週末大引け後に情報開示のあった銘柄では、保有契約数 330 万件突破を発表した SBI インシュアランスグループ<7326>や、系統用蓄電所システム工事を子会社が受注したと発表したグリーンエナジー&カンパニー<1436>などが注目される。

今週の IPO は 1 件。30 日にトグルホールディングス<652A>がグロース市場に上場予定となっている。AI を活用して再開発用地を選定・取得し、不動産開発業者などに売却する。直近 15 日にグロース市場に上場したルクレ<648A>が、公開価格比 37.2%高と好発進した後でもあり、初物人気を集めそうだ。

東証グロース市場 250 指数



トライアルHD<141A>



SBI インシュアランスグループ<7326>



主要企業の決算発表や FOMC など重要イベント目白押し/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株はまちまち。騰落率は、NY ダウが+0.41%、ナスダックが-0.71%、S&P500 が-0.47%。週初はハイテク株に押し目買いが優勢となった一方、ディフェンシブや景気敏感株には利食い売りが強まる展開となった。ただ、週中にかけては、人工知能（AI）関連が再度軟化して長期金利が低下、ディフェンシブや消費関連株などに資金がシフトする格好となった。22 日には 10 年債利回りが 1 カ月ぶりに 5%を下回っている。また、決算発表が本格化する中で、スリーエムや P&G など好決算銘柄への関心も強まることとなった。一方、フリーキャッシュフローが赤字に転じたメタが大幅安になるなど、AI 過剰投資への懸念が再燃した。週末は、イランがタンカー攻撃を強めるなど、中東情勢の緊迫化を映して原油価格が上昇し、景気敏感株を中心に売り圧力が強まった。一方、半導体株指数（SOX 指数）が反転するなど、ナスダックの下げは小幅にとどまっている。

個別では、3M は利益が予想を上回ったほか、通期見通しも引き上げ、さらに、AWS とのデータセンター用材料・部品供給契約締結も好感されて上昇。スペース X は、第 3 四半期の 1 株当たり利益が市場予想を上回ったほか、マスク CEO がテスラとの統合を支持する姿勢を示し、期待感に上昇。IBM は、第 3 四半期決算で利益が市場予想を上回り買われた。P&G も、逆風の中でも生活必需品への需要が強く、利益が市場予想を上回って上昇。クラウドストライク、パロアルトは、ネット上世界で広く使用されているオープンソースプログラミング言語「PHP」における重大な脆弱性が見つかったことを受け、企業が防衛策を強めるとの思惑にそれぞれ上昇した。

一方、コアウィーブは、一部アナリストの投資判断引き上げが話題となったが上値は重く、週後半にかけては下値模索の展開となった。GM は利益が予想を上回ったものの、CEO が逆風を警告し、利益見通しレンジを縮小したことで下落。ユナイテッドは第 3 四半期決算で利益が予想を下回り、週末にかけ売り優勢。ATT は決算が好調だったが、スペース X の消費者向け高速衛星通信「スターリンク」携帯サービス参入計画で、競争激化が警戒された。ネットフリックスは弱い業績見通しが警戒視された。メタは決算が記録的に強い内容となったが、AI 関連の設備投資計画を引き上げて過剰投資が警戒され、CDS が過去最高水準近くに達したことが嫌気された。アップルは店頭販売を開始した折り畳み式アイフォーン「DUO」を巡る評価が分かれ、週末に売られた。アメリカン・エクスプレスは従業員数約 3500 人削減計画が嫌気された。

■今週の見通し

今週は国内外で主要企業の決算発表が佳境を迎える。とりわけ、メタが決算発表後に大きく売り込まれていることから、アルファベット、マイクロソフト、アマゾンなどハイパースケーラーの決算内容、設備投資計画に関心が高まる公算。過剰投資への懸念沈静化につながるのかどうか、全体相場の行方を左右するものにもなる。ただ、来週には中間選挙を控えており、結果次第では AI 開発抑制議論が高まる可能性に注意は必要。決算発表はその他にも、ボーイング、コーニング、シーゲイト、サービスナウ、キャタピラー、インテル、サンディスク、海外企業でもサムスン電子、BYD、アストラゼネカ、SK ハイニックスなど注目企業が目白押し。総じて、AI・半導体関連株の決算ハードルは高い状況だが、その他の銘柄では好決算にストレートな反応がみられている。

今週、連邦公開市場委員会（FOMC）も開催されるが、今回は政策金利の据え置きが想定されている。ウォーシュ連邦準備制度理事会（FRB）議長の会見を受け、今後の利上げの確度を見極めることになるが、あくまで中間選挙後の中東情勢や原油相場の変化が 12 月の金融政策のカギを握るとみられ、今回 FOMC で株価の方向性は定まりにくいと考えられる。AI 関連株の調整を主因に長期金利は足下で一服している。ただ、原油相場が高止まりしている中、AI 関連株に関しては、株価の上昇が長期金利の上昇につながり、バリュエーションの割高感を強めさせることにもなる状況。しばらくは戻りも限定的となりそうだ。

経済指標は、27 日に 8 月住宅価格指数、8 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、9 月耐久財受注、9 月新築住宅販売件数、10 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、29 日に 7-9 月期 GDP、9 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、30 日に 10 月シカゴ購買部協会景況指数が発表される。なお、27 日から 28 日にかけては FOMC が開催され、28 日にはウォーシュ FRB 議長の会見が予定されている。

主な決算発表は、26 日にベライゾン、ニューコア、27 日にテラダイン、ボーイング、フリーポートモクモラン、ユニバーサルヘルス、コーニング、コカコーラ、ノバルティス、シーゲイト、UPS、ビザ、28 日にフォード、フェデックス、アルファベット、マイクロソフト、サービスナウ、29 日にアマゾン、キャタピラー、ギリアド・サイエンシズ、インテル、イーライリリー、マスターカード、メルク、スターバックス、サンディスク、アレグロマイクロ、ファーストソーラー、30 日にシェブロン、エクソン・モービルなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

154.00 円 ~ 158.00 円

ドル・円は底堅い。27-28 日開催予定の米連邦公開市場委員会 (FOMC) と 29-30 日開催予定の日銀金融政策決定会合においては、いずれも政策維持の見通し。日米金利差の縮小は見込みにくく、ドル買い・円売りの基調に変わりはなさそう。足下では、財政悪化懸念が強まるフランスでデモが激化しており、政情不安が広がってユーロ売りに振れやすい地合いが続いている。また、プログラミング言語「PHP」の安全性が問題視され、リスク回避の円買いもみられる。こうした中、FOMC では今後の利上げペースが焦点となろう。前回 9 月に 3 年超ぶりの利上げを決定した際には全会一致だったが、今回の声明や票決内容で 12 月の追加利上げに思惑が広がればドル買いに振れやすい。一方、日銀金融政策決定会合では政策維持に加え、27 年度の物価見通しを引き上げるとみられている。現時点では 12 月の追加利上げが意識されており、市場のシナリオに沿った内容なら円買いは限定的だろう。そのため、日米中銀による政策決定を通過しても、日米金利差の大幅な縮小は見込みにくく、引き続きドル・円は底堅い展開となろう。11 月 3 日 (米国時間) に予定されている

米中間選挙では与党・共和党の劣勢が伝えられている。民主党の下院掌握による財政再建への期待感からもドルは売りづらい展開となりそう。

【米・連邦公開市場委員会 (FOMC)】(27-28 日開催予定)

27-28 日に開催予定の米連邦公開市場委員会 (FOMC) においては、市場は政策金利の据え置きをほぼ織り込んでおり、12 月の追加利上げの可能性が焦点となろう。全体的に引き締めに慎重姿勢を示せば、米金利安・ドル安の展開に。

【米・9 月コア PCE 価格指数】(29 日発表予定)

29 日発表の米 9 月コア PCE 価格指数は前月比 +0.3% と、前回の同 +0.2% を上回る見通し。強いインフレ圧力が意識されれば、12 月の追加利上げ観測を後押しし、ドル買い要因となる。

債券市場

■先週の動き

先週 (10 月 19 日 - 23 日) の債券市場で長期債利回りは低下。AI 関連株への過剰投資懸念から日米の株式市場で株安が進み、リスク回避の債券買いが優勢となった。日銀の植田総裁は 19 日の参院予算委員会で、短期金利の調整が遅れ物価上振れへの懸念が強まれば長期金利が上昇する可能性もあると述べ、利上げ継続姿勢を示したが、株安を背景とした債券買いが優勢となり、金利上昇圧力は抑えられた。23 日には、前日の米 AI 関連株安と米債高 (米 10 年債利回りは 4.95% と一時約 1 カ月ぶりの低水準) を受けて買いが加速し、一時 2.757% と約 3 カ月ぶりの低水準を付けた。同日発表の 9 月全国 CPI は生鮮食品を除くコア指数が前年比 +2.1% 市場予想通りだった一方、コアコア指数 (生鮮食品及びエネルギーを除く) は +2.4% (8 月 +1.9%) と市場予想の 2.3% を上振れたが、米株安を背景としたリスク回避の債券買いが優勢となった。

10 年債利回りは低下。2.912% 近辺で 19 日の取引を開始し、株安と米金利低下を背景に 2.896% 近辺まで低下、20 年債入札の強い結果も支えとなり 2.907% 近辺で引けた。20 日は 2.938% 近辺まで上昇する場面もあったが、2.898% 近辺で引け、21 日は 2.889% 近辺まで低下し 2.894% 近辺で引けた。22 日は米債高が波及して 2.867% 近辺まで低下したが、原油高が重荷となって戻し、2.882% 近辺で引けた。23 日はリスク回避の買いで一時 2.757% 近辺まで急低下したが、午後は株安一服から下げ幅を縮小して、2.804% 近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物 12 月限は上昇。125 円 80 銭で 19 日の取引を開始し、125 円 90 銭まで上昇した後、125 円 48 銭まで押し戻され、125 円 55 銭で引けた。20 日以降は株安や米金利低下を背景に買いが優勢となり、20 日は 125 円 72 銭、21 日は 125 円 95 銭と続伸。22 日には 126 円 56 銭まで上昇して 126 円 55 銭で引けた。23 日はリスク回避の買いで 126 円 98 銭まで一段高となった後、午後は上げ幅を縮小し 126 円 64 銭でこの週の取引を終えた。

債券先物予想レンジ

125.80 円 ~ 127.20 円

長期国債利回り予想レンジ

2.700 % ~ 2.920 %

■今週の見通し

今週 (10 月 26 日 - 30 日) の債券市場で長期金利は、約 3 カ月ぶりの低水準まで低下した後で、もみ合いとなる見込み。27-28 日開催予定の米連邦公開市場委員会 (FOMC)、29-30 日開催予定の日銀金融政策決定会合と、日米の金融政策イベントが重なる大型週で、イベント前は様子見姿勢が強まりやすい。また、AI 関連株の変動が大きく、株安時に債券が買われる展開が続くかも焦点となる。30 日は月末にもあたり、国内機関投資家のポジション調整も入りやすい。

FOMC の結果は 29 日 3 時 (日本時間) に発表されるため、国内債には 29 日の取引から反映される。政策金利は据え置きが見込まれる一方、市場は 12 月の追加利上げが意識されており、3 時 30 分のウォーシュ連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の会見で、追加利上げにどこまで踏み込むかが焦点となる。29 日 21 時 30 分発表の米 9 月 PCE 価格指数 (予想は、総合は前月比 +0.5%、前回同 +0.3%、コアは同 +0.3%) と米 7-9 月期 GDP 速報 (予想は、前期比年率 +3.0%、前期同 +2.2%) は国内市場の引け後のため、影響は 30 日の取引から反映される。市場予想を上回れば、12 月の追加利上げ観測が強まり、米金利上昇とともに国内金利にも上昇圧力がかかりやすい一方、予想を下回れば、金利低下圧力がかかる可能性がある。

日銀会合は 30 日に結果が発表されるが、政策金利は 1.25% で据え置かれるとの見方が有力。市場が織り込む 10 月の利上げ確率は 1 割程度にとどまる一方、12 月までの追加利上げ確率は約 9 割となっており、焦点は 12 月の追加利上げに向けたシグナルの有無となる。同時公表の展望レポートで 27 年度の物価見通しが小幅に上方修正される可能性もある。決定内容は取引時間中に公表される見込みだが、植田総裁の記者会見は 15 時 30 分からの予定で引け後のため、会見内容の影響は翌営業日の 11 月 2 日以降に持ち越される可能性がある。このほか、29 日の 2 年債入札、30 日 8 時 30 分発表予定の東京都 10 月 CPI も手掛かりとなる。

株式会社フィスコ

国内外主要企業の決算発表を受けた個別物色が中心に

先週の日経平均は大幅続落。週後半にかけて下げ幅を広げ、週末には一時、9月14日の安値を割り込み、7月30日以来の安値水準まで下落した。米メタが決算を発表、キャッシュフローが赤字転落となり、AI過剰投資への警戒感が再燃する形となった。また、半導体製造装置のラムリサーチが決算発表後に下落したことも、AI・半導体関連株の弱材料へとつながった。業種別では、原油価格の上昇で石油関連株が上昇のほか、一般的にディフェンシブ業種が上昇率上位。長期金利低下を受けて週末には不動産株も強い動きとなる。一方、非鉄金属、ガラス・土石、電気機器などAI関連セクターが軟化し、10月利上げ期待の後退で銀行株も後半にかけて売り優勢となる。ほか、高市首相が外食業界への支援として需要喚起策を検討する意向を示したことで、外食産業に関心が向かった。また、米スペースXが決算を受けて上昇し、関連銘柄に注目が集まる場面も。「PHP」の脆弱性発見で、サイバーセキュリティ関連も引き続き賑わう動き。

個別では、業績上方修正を発表したコーエーテクモ、ストライク、タスキHDなどに買いが先行。ブロンコビリーは7-9月期好決算を評価。東宝は決算説明会を受けた見直しの動きが続いた。週末には米長期金利低下を受け、米住宅関連株上昇で住友林業が買い優勢のほか、ドル安円高進行でパルグループなど円高メリット銘柄にも資金が向かう。半面、決算発表のディスコは、業績サプライズが乏しかったもののAI関連株の地合い悪化で下落。関東電化は上方修正発表も出尽くし感。

今週はイベントが盛り沢山、とりわけ、国内外で本格化する主要企業の決算発表が最大の注目点となろう。国内では、27日に信越化、キヤノン、日東電工、28日に日立、アドバンテスト、NEC、野村、29日にキーエンス、ルネサス、イビデン、JT、武田薬、富士通、コマツ、OLC、デンソー、NRI、関西電、30日に東京エレクト、キオクシア、村田製、住友電、TDK、レーザーテック、SCREEN、三菱電、パナソニック、第一三共、JR東などが予定されている。全般的に、AI・半導体関連は決算ハードルが高く、他は好決算がストレートに反映されるものとみられる。海外でも、アルファベット、マイクロソフト、アマゾンなどハイパースケーラーのほか、ボーイング、コニンク、サービスナウ、キャタピラー、インテル、サンディスク、サムスン、BYD、アストラゼネカ、SKハイニックスなど、国内関連企業に影響を与える銘柄の発表が多い。今週は、個別物色が大いに幅を利かせる展開となりそうだ。

今週は日銀、FOMC、ECBなど中銀ウイークでもある。それぞれ、今回は政策金利据え置きが想定されるが、年内の追加利上げ余地は大きい。ただ、米中間選挙を通過しない限り、今後の政策金利変更の有無などといった確度は高めにくく、今回は相場の方角感を定めさせるものにはならないだろう。ただ、先週末にかけて下落した国内金融関連株などの動きには注目、地銀の再編進展期待なども支援となってこよう。なお、先週末に決算発表のファナックだが、上方修正数値や受注実績など見直し余地は大きくなりそうだ。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	上位セクター	騰落率（％）
277A	グロービング	2,090.0	13.40	6619	ダブル・スコープ	112.0	-21.13	鉱業	4.26
6532	ベイカレント	11,500.0	12.80	6323	ローツェ	3,657.0	-18.00	不動産業	3.66
8237	松屋	2,639.0	12.44	6264	マルマエ	1,648.0	-17.89	医薬品	2.80
9889	JBCホールディングス	2,343.0	11.47	6258	平田機工	3,395.0	-17.20	電力・ガス業	2.42
9409	テレビ朝日ホールディングス	3,400.0	10.21	6740	ジャパンディスプレイ	29.0	-17.14	サービス業	2.13
9602	東宝	1,677.5	9.93	6266	タツモ	3,265.0	-17.13	陸運業	1.80
8163	SRSホールディングス	1,703.0	9.80	6101	ツガミ	4,345.0	-17.08	石油・石炭製品	1.68
9729	トーカイ	2,906.0	9.62	6976	太陽誘電	8,364.0	-16.94	下位セクター	騰落率（％）
3697	SHIFT	1,156.0	9.26	7717	ブイ・テクノロジー	4,745.0	-16.90	非鉄金属	-11.02
3087	ドール・日レスホールディングス	3,540.0	9.09	6800	ヨコオ	3,340.0	-16.60	銀行業	-6.24
7581	サイゼリヤ	7,620.0	8.55	7384	プロクレアホールディングス	3,850.0	-16.30	ガラス・土石製品	-6.20
3091	ブロンコビリー	3,130.0	7.67	7735	SCREENホールディングス	11,630.0	-15.82	機械	-5.37
4565	ネクセラファーマ	1,343.0	7.61	6490	PILLAR	9,770.0	-15.56	電気機器	-4.84
3387	クワイート・レストラン・ホールディングス	798.0	7.40	8338	筑波銀行	617.0	-15.48	金属製品	-4.47
4480	メドレー	2,461.0	7.14	6134	FUJI	5,948.0	-15.16	情報・通信業	-3.95

下値もみ合い、「トンボ」示現で一旦反発も

■今週も株価が大幅に変動する可能性

先週（10月19-23日）の日経平均株価は2週連続で下落した。1週間の下げ幅は2631.13円（先々週3706.63円）だった。

先週の日経平均は下落基調を強めた。週末23日は9月14日直近安値62726.18円を下回って61462.61円まで下落した。この間、株価上方では25日移動平均線が下降を続け、13週線も下向きに転じた。

今週の日経平均は下値もみ合いが予想される。先週末のローソク足は小陽線で終了。短い上ヒゲと長い下ヒゲを伴う「トンボ」を急落局面で形成し、短期的な底値到達とトレンド転換を示唆した。10月6日高値から23日安値まで9336.01円とほぼ一方通行で下落し、先週末終値の25日線との下方乖離率が5.41%と2日連続で5%を超えたことから一旦反発に向かう場面が予想される。ただ、25日線が下降中であることに加え、13週線と26週線のデッドクロス形成が接近しており、一段安となれば調整長期化リスクが増すこととなる。

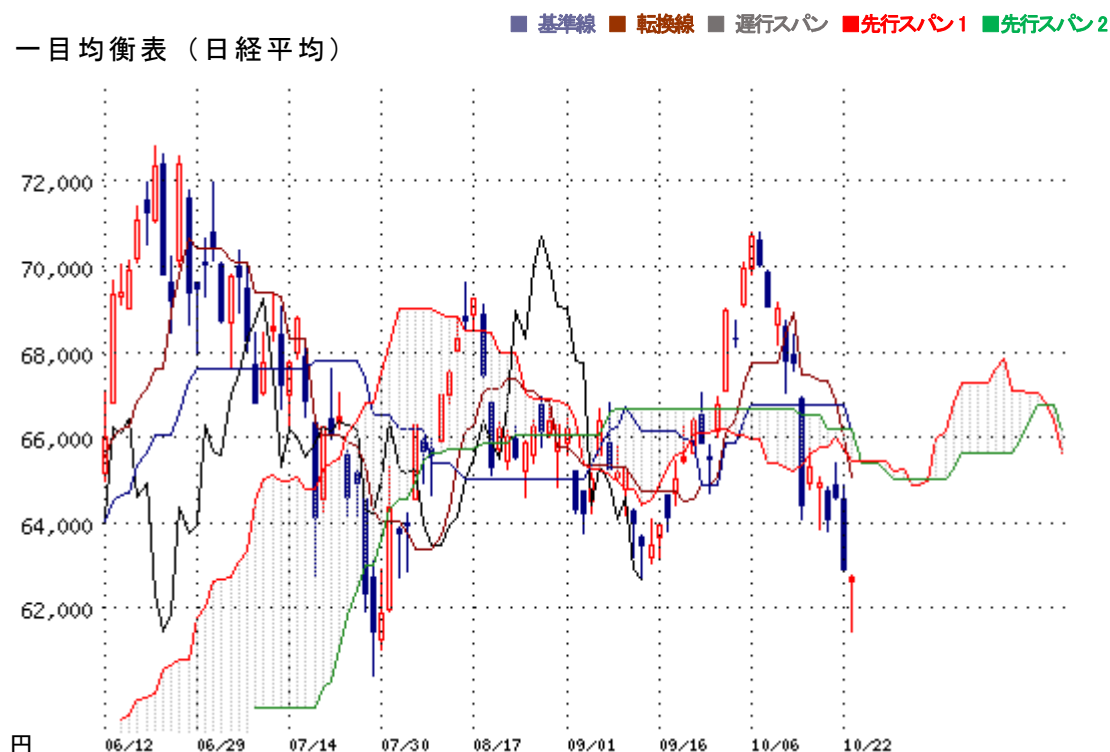
先週末終値が25日線を上回る銘柄は、日経平均採用225銘柄

で92銘柄（先々週末104銘柄）、プライム市場全銘柄で39%（先々週末50%）と減少、相場全体で短中期投資家の含み損益が悪化し、押し目買い余力が低下した状態にあると推察される。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では、先週末に -2σ 割れまで下ヒゲを伸ばし、終値は -1σ と -2σ の間の売り手優勢の位置。先週末終値の 1σ の値幅は2389.63円（先々週末2226.19円）と大きく、今週も株価が大幅に変動する可能性がありそうだ。

上値では、9月14日高値から先週末安値までの3分の1戻し64574.62円前後までが急落後の自律反発の範囲内。この水準の上には節目の65000円や13週線（先週末65913.67円）と抵抗線が並び、上抜けには日柄が必要となりそう。下値では先週末安値61462.61円が抵抗線として意識される。同水準を下回っても7月29日安値60448.90円割れを回避して反転すれば下値切り上げ型のダブルボトムが形成され、その後の相場反騰の布石となろう。

一目均衡表（日経平均）



令和アカウンティング・ホールディングス〈296A〉グロース

上期好決算も株価は調整、業績上振れ期待は継続

■安定収益基盤を強みにAI・人材領域を拡大

企業の経理・決算支援や REIT・SPC 関連業務など、会計分野に特化したコンサルティングを展開。継続型サービスの契約継続率は99%台と高く、安定的な収益基盤を強みとする。IPO 支援や M&A 支援など高付加価値のプロジェクト型サービスを拡大するほか、AI を活用した会計システムの開発や専門人材サービスの強化にも注力。

■高収益体質への転換進む

27 年 3 月期中間決算は売上高が前年同期比 11.3%増の 29.5 億円、営業利益が同 30.5%増の 10.7 億円と好調。継続型サービスの積み上げに加え、案件消化スピードの向上など生産性改善が利益成長に寄与した。ただ、9 月の業績上方修正を受けて高まっていた期待に対し、中間期実績の上振れは小幅にとどまり、通期予想も据え置かれたことから、材料出尽くしの売りが優勢と

売買単位	100 株
10/23 終値	994 円
目標株価	1200 円
業種	サービス

なった可能性がある。一方、会社側は効率化効果の波及状況を見極めたうえで通期予想を見直す方針であり、上振れ期待は残る。足元の株価は調整が続いているが、業績の堅調さを背景に下値固めからの反発に期待したい。目標株価は直近高値付近となる 1200 円とする。

★リスク要因

専門人材の採用難など。

296A: 日足

下値固めからの反発に期待。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	3,884	-	765	767	-	327	8.72
2024/3連	4,423	13.9%	822	824	7.4%	574	15.33
2025/3連	4,979	12.6%	1,494	1,478	79.4%	1,014	26.96
2026/3連	5,705	14.6%	1,988	1,994	34.9%	1,421	37.81
2027/3連予	6,300	10.4%	2,160	2,160	8.3%	1,440	38.50

ラクス〈3923〉プライム

「楽楽精算」「楽楽明細」など手掛ける、第1四半期営業利益は30.1%増

■IT人材事業は売却

企業の業務効率化を支援するプロダクトをクラウドで提供する。26年3月期売上高の14%を占めていたIT人材事業は26年4月に売却した。一方、オアシス・マネジメントからプラスアルファ・コンサルティング〈4071〉株式を追加取得し、持分法適用会社とした。クラウド事業のプロダクトは、経費精算をWebブラウザ上で実現する「楽楽精算」が売上高の38%を占め、請求書、納品書を自動化する「楽楽明細」が26%、販売管理をシステム化する「楽楽販売」が14%などとなっている(26年4-6月)。新規契約がストックとして積み上がり、同事業の売上高の93.3%(同)がストック売上高で、収益の安定性が高い。

■今期は計画を上回る立ち上がり

27年3月期第1四半期売上高は142.10億円(前年同期比0.9%増)、営業利益は47.56億円(同30.1%増)。売上高、営業利益と

売買単位	100 株
10/23 終値	1112.5 円
目標株価	1395 円
業種	情報・通信

もに社内計画を上回る順調な立ち上がりとなったとしている。IT人材事業売却による売上構成の変化もあり、営業利益率は33.5%と過去最高となった。27年3月期通期売上高は597億円(前期比1.0%減)、営業利益は205億円(同18.2%増)予想。株価は底堅く推移している。昨年高値1395円を目標株価としたい。

★リスク要因

人工知能(AI)との棲み分けなど。

3923:日足

4月以降は調整をはさみつつ水準を切り上げる展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	27,399	32.8%	1,656	1,677	5.1%	1,274	7.03
2024/3連	38,408	40.2%	5,559	5,610	234.5%	4,185	23.10
2025/3連	48,904	27.3%	10,192	10,218	82.1%	8,003	44.18
2026/3連	60,286	23.3%	17,345	17,440	70.7%	13,293	36.91
2027/3連予	59,700	-1.0%	20,500	20,500	17.5%	25,200	71.16

レゾナック HD<4004> プライム

AI 向け半導体材料が利益成長をけん引、石化事業分離で収益体質改善へ

■上期コア営業利益は前年同期比2.6倍

旧昭和電工と旧日立化成を母体とする機能性化学メーカー。半導体封止材や銅張積層板(CCL)、接着フィルムなど後工程材料に強みを持つ。2026年12月期上期は売上収益6,769億円(前年同期比5.4%増)、コア営業利益888億円(同156.5%増)で着地。半導体・電子材料セグメントの売上収益・コア営業利益は、四半期単位で過去最高となり、AI向け先端パッケージ材料の販売数量拡大が寄与した。通期業績予想も引き上げ、コア営業利益予想は1,400億円から1,960億円へ上方修正した。

■石化事業分離で半導体材料への集中を加速

10月1日に石油化学事業のクラサスケミカルをパーシヤルスピンオフした。高収益の半導体・電子材料事業への経営資源集中を進める。同事業の2026年通期コア営業利益は1,950億円を見込む。AI半導体の高密度化や大型化に伴う材料需要の拡大

売買単位	100 株
10/23 終値	12820 円
目標株価	16000 円
業種	化学

が中長期的な成長要因となろう。株主還元では、今期の年間配当を65円と予想している。株価はAI投資への警戒感から10月に調整が進んだが、半導体・電子材料領域を中心に利益成長が続くとの想定から、まずは目標株価1万6000円までの戻りを期待する。11月11日の第3四半期決算にも注目したい。

★リスク要因

半導体材料の需要鈍化、原材料価格の上昇など。

4004: 日足

10月に入り調整色を強める。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	1,392,621	-1.9%	61,726	61,711	-29.0%	32,422	179.02
2023/12連I	1,295,395	-	-9,407	-14,218	-	-6,505	-
2024/12連I	1,391,480	7.4%	89,036	84,647	-	73,503	406.61
2025/12連I	1,347,125	-3.2%	46,676	45,042	-46.8%	29,031	160.49
2026/12連I予	1,165,000	-13.5%	160,000	158,000	250.8%	112,500	606.32

ラウンドワン<4680> プライム

国内 9 月既存店 38.6%増と好調で年初来高値更新

■1Q2桁増収で営業増益

日本と米国を中心に複合アミューズメント施設を展開する業界のリーディングカンパニー。2027 年 3 月期第 1 四半期は売上収益 513.77 億円(前年同期比 18.2%増)、営業利益 63.39 億円(同 4.3%増)と増収増益で着地した。国内はクレーンゲームやコラボ企画が好調でセグメント利益が 5 割超増加した一方、米国は人件費などのコスト増で減益となり、高級飲食のラウンドワンデリシャスも先行費用で損失が拡大した。通期は売上収益 2,190.90 億円(前期比 15.6%増)、営業利益 330.50 億円(同 14.9%増)の計画を据え置き、繁忙期の下期偏重を見込む。

■9 月既存店は 38.6%増と好調

株価は 5 月の年初来安値 788 円から反発基調が続き、10 月 16 日には年初来高値 1,414 円をつけた。国内 9 月の既存店売上高はアミューズメント部門の 53.2%増がけん引して前年同月比 38.6%増と大幅に伸び、上期累計でも 21.8%増と好調を維持し

売買単位	100 株
10/23 終値	1318 円
目標株価	1500 円
業種	サービス

ている。今後は国内既存店の売上拡大を図りつつ、米国では店舗網の拡大に向けて積極的な出店を続ける方針。ラウンドワンデリシャスはロサンゼルスとラスベガスで年内の開業を予定する。年間配当は前期と同額の 18 円を計画。11 月 11 日の上期決算を控えるなか、目先の目標株価は節目の 1,500 円とする。

★リスク要因

米国の人件費増や出店コスト増など。

4680: 日足

9 月後半から上昇基調。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	142,051	47.3%	16,921	16,690	211.4%	9,737	34.03
2024/3連I	159,181	-	24,705	21,672	-	14,662	54.28
2025/3連I	177,057	11.2%	26,240	23,007	6.2%	15,405	57.38
2026/3連I	189,548	7.1%	28,773	25,418	10.5%	16,621	63.30
2027/3連I予	219,090	15.6%	33,050	27,450	8.0%	18,260	69.46

CKD〈6407〉プライム

装置と機器を手掛ける機械メーカー、27年3月期営業利益は45.1%増予想

■自動化と流体制御などが基盤技術

50万点を超える国内トップクラスの製品ラインナップを誇る機械メーカー。自動化技術と流体制御技術を基盤に事業展開する。電動機器や流体制御機器など多様なFA機器を手掛ける「機器」事業が売上高の88%を占め、薬品や食品などの自動包装システムやリチウムイオン電池用巻回機、三次元はんだ印刷検査機などの「自動機械装置」事業が12%となっている。利益は機器が80%、自動機械装置が20%をそれぞれ稼ぐ(26年3月期)。装置と機器の2つの事業を手掛ける企業は世界でも珍しく、同社の強みとなっている。

■半導体関連市場の需要拡大

27年3月期第1四半期売上高は491.08億円(前年同期比35.5%増)、営業利益は80.32億円(同2.1倍)。機器部門で半導体関連市場の需要が拡大し、収益寄与した。27年3月期通期売

売買単位	100 株
10/23 終値	4370 円
目標株価	6120 円
業種	機械

上高は1930億円(前期比22.2%増)、営業利益は285億円(同45.1%増)予想。第1四半期決算発表時に、売上高を7%、営業利益を16%ほど、期初予想からそれぞれ引き上げた。株価はやや調整局面だが業績は好調だ。まずは10月高値6120円回復を目標としたい。

★リスク要因

半導体業界の設備投資動向など。

6407: 日足

好業績株の株価下落場面は投資チャンスか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	159,457	12.1%	21,170	21,181	17.4%	14,788	221.76
2024/3連	134,425	-15.7%	13,113	13,048	-38.4%	8,338	124.94
2025/3連	155,634	15.8%	19,018	19,167	46.9%	13,520	202.48
2026/3連	157,886	1.4%	19,640	19,867	3.7%	13,578	203.23
2027/3連予	193,000	22.2%	28,500	28,500	43.5%	19,000	284.29

TWOSTONE&Sons 〈7352〉 グロース

今期大幅増益を計画、サイバーセキュリティ参入に期待

■サイバーセキュリティ領域に参入

IT エンジニアのマッチングサービス「Midworks」を主力に、コンサルティングやM&Aアドバイザーなどを展開。登録エンジニア数は 7.1 万人を超え、豊富な人材基盤を強みとする。企業のDX・AI 活用需要を背景に、エンジニアの提案力やマッチング精度の向上を進めるほか、AIコンサルティング子会社2社を設立。さらに、サイバーセキュリティ領域にも参入しており、足元のセキュリティ対策需要の拡大が追い風となりそうだ。

■27年8月期は大幅な増益を計画

26 年 8 月期は売上高が過去最高を更新した一方、先行投資などが響き営業減益となった。ただ、主力の Midworks は第 4 四半期に事業利益が前年同期比 90.8%増と回復傾向を示している。27 年 8 月期は売上高が前期比 15.6%増の 251.9 億円、営業利益が同 89.0%増の 15.3 億円と大幅増益を計画。エンジニアマッ

売買単位	100 株
10/23 終値	460 円
目標株価	700 円
業種	サービス

ング事業の収益性改善に加え、コンサル・アドバイザー事業の拡大が利益成長をけん引する見通しだ。前期の計画未達を受けて業績予想の達成確度を見極める必要はあるものの、主力事業の回復が鮮明となれば株価の見直しにつながろう。目標株価は 2 月高値付近となる 700 円とする。

★リスク要因

人材採用費の増加など。

7352: 日足

200 日線を明確に上抜けられるかが焦点。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/8連	10,056	46.4%	319	313	56.5%	170	8.11
2024/8連	14,290	42.1%	474	445	42.2%	188	4.45
2025/8連	18,077	26.5%	819	807	81.3%	494	11.38
2026/8連	21,805	20.6%	810	847	5.0%	429	9.75
2027/8連予	25,198	15.6%	1,531	1,482	75.0%	774	17.34

加賀電子〈8154〉プライム

エレクトロニクス商社、独立性とグローバルネットワークが強み

■業界2位に躍進

電子部品・半導体・情報機器の販売が主力の独立系エレクトロニクス商社。約2100名の技術開発部隊を擁するほか、海外17カ所、国内7カ所の自社工場を持ち、EMS(電子機器の受託開発製造サービス)事業や自社ブランドの半導体、周辺機器の販売展開など、メーカー的機能も兼ね備える。仕入先は8900社、顧客数は1万700社。売上規模は19年3月期には業界6位だったが、この7年間で加賀EFI(旧富士通エレクトロニクス)などを連結化し、26年3月期はマクニカHD<3132>に次ぐ業界第2位に躍進した。どのメーカーにも属さない「独立性」に加え、18カ国・136拠点到に展開するグローバルネットワークが強みとなっている。

■新光商事などの業績寄与

27年3月期第1四半期売上高は1704.50億円(前年同期比23.4%増)、営業利益は84.60億円(同30.5%増)。メモリ製品の

売買単位	100 株
10/23 終値	5330 円
目標株価	7000 円
業種	卸売

販売増や価格上昇、前期第2四半期より連結化した協栄産業の業績などが寄与した。27年3月期通期売上高は7600億円(前期比15.3%増)、営業利益は320億円(同15.0%増)予想。8月に子会社となった新光商事の業績寄与などを見込む。株価は底堅く推移している。大台7000円を目標株価としたい。

★リスク要因

半導体市況の変調など。

8154:日足

やや上値が重いが高値圏を維持。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	608,064	22.6%	32,249	32,739	52.6%	23,070	878.65
2024/3連	542,697	-10.8%	25,845	25,976	-20.7%	20,345	774.61
2025/3連	547,779	0.9%	23,601	22,593	-13.0%	17,083	325.08
2026/3連	658,941	20.3%	27,824	29,930	32.5%	31,099	627.71
2027/3連予	760,000	15.3%	32,000	32,000	6.9%	29,000	608.35

東京建物〈8804〉プライム

大規模再開発と物件売却が成長牽引、増配継続にも期待

■上期は減収増益、通期利益見通しを上方修正

1896年創業の総合不動産大手。2026年12月期上期の営業収益は1,944億円(前年同期比6.9%減)となった一方、営業利益は398億円(同17.1%増)、経常利益は314億円(同12.5%増)と増益で着地した。分譲マンションの売上計上が減少した一方、ビル賃貸収益の伸長や投資家向け物件売却が寄与した。通期計画では営業利益を1,055億円(前期比10.2%増)、経常利益を835億円(同6.8%増)へ上方修正した。上期の営業利益進捗率は37.8%となり、下期の物件売却動向が業績達成の鍵となる。

■八重洲再開発と株主還元拡充に期待

東京駅前の「TOFROM YAESU TOWER」は2026年2月に竣工し、9月に開業。今後は同施設の稼働に伴う賃貸収益の拡大が期待されるほか、呉服橋や京橋三丁目などで進める大規模再開発も中長期的な成長材料となる。中期経営計画では資産回転型事業の拡大や資本効率の改善を重視し、2027年度の事業利益

売買単位	100 株
10/23 終値	3280 円
目標株価	3400 円
業種	不動産業

950億円、配当性向40%を目標に掲げる。26年12月期の事業利益予想は1,050億円と、中計目標を1年前倒しで上回る見通し。年間配当予想は前期比21円増の126円で、予想配当利回りは約3.9%。賃貸収益の拡大や増配継続への期待を踏まえ、予想PER1.5倍程度を適用した目先の目標株価は3,400円とする。

★リスク要因

金利上昇に伴う資金調達コストの増加や不動産市況の悪化、建築費の高騰、投資家向け物件売却の遅延など。

8804:日足

25日線を上回って推移。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	349,940	2.8%	64,478	63,531	37.3%	43,062	206.15
2023/12連	375,946	7.4%	70,508	69,471	9.3%	45,084	215.82
2024/12連	463,724	23.3%	79,670	71,722	3.2%	65,882	315.50
2025/12連	474,586	2.3%	95,763	78,187	9.0%	58,879	283.08
2026/12連予	524,000	10.4%	105,500	83,500	6.8%	65,000	313.54

ディスコ プライム<6146>/安値更新も半導体決算佳境で乱高下リスク残る

先週末にかけて大幅続落。7月、9月のダブルボトム水準を割り込んで、25年末以来の水準にまで下落。22日に第2四半期の決算を発表、7-9月期営業利益は676億円で前年同期比52.3%増となり、市場予想は20億円程度上振れた。消耗品の上振れなどで利益率が想定よりも高まったもよう。一方、10-12月期見通しは581億円としており、市場予想には100億円弱未達の水準となっている。弱いガイダンスに加えて、AI・半導体関連株安の地合いも重なり、売り圧力が強まった。

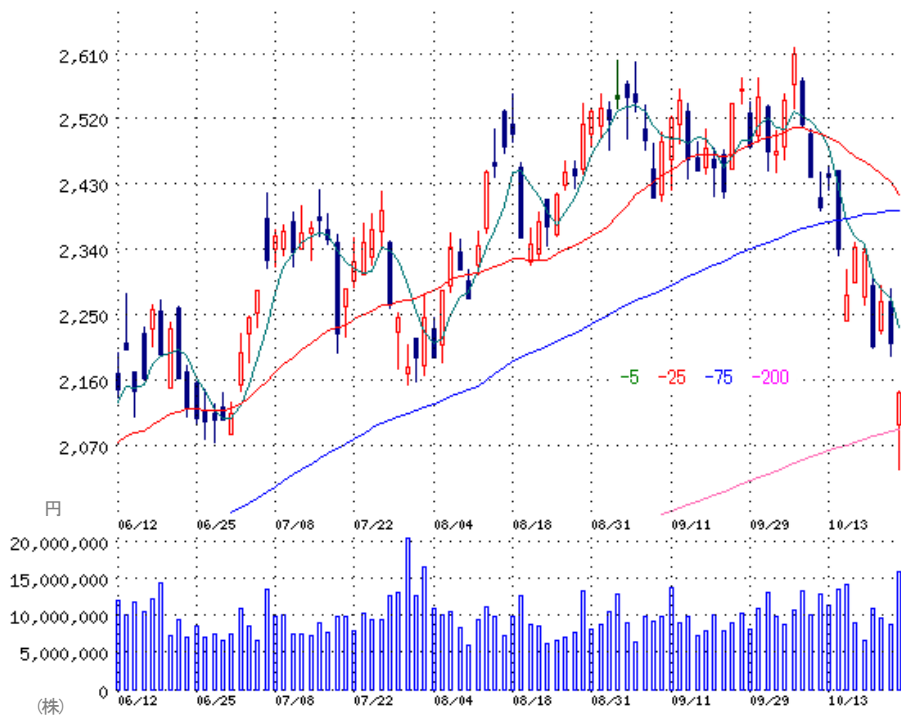
同社の場合、ガイダンスは毎回保守的な傾向が強く、決算自体のネガティブインパクトは小さかったとみられる。目先、AI・半導体関連株がリバウンドに転じる場合は、決算通過による安心感なども相対的に優位となり得よう。ただ、今週は国内外で半導体関連の決算発表が目白押し、短期的な乱高下リスクは残るだろう。



りそなホールディングス プライム<8308>/短期利上げ期待後退で大幅安も

先週末にかけて大幅続落。6月はじめ以来の株価水準にまで調整する。日銀が29-30日に開催する金融政策決定会合において、1.25%の政策金利を据え置く方針と報じられている。前回会合で決定した利上げの影響を見極めるためとされている。短期利上げ期待の後退につながり、地銀株と同様に売りが優勢となった。また、日米長期金利がそれぞれ低下基調にあることも逆風とされた印象。

ただ、10月の利上げ見送りは相当程度織り込まれていたとみられ、先週末の下げはやや過剰反応の感が強い。今週の日銀金融政策決定会合を受けて、あらためて12月の利上げ期待が高まる可能性も高いとみる。また、先週末には滋賀銀行と池田泉州HDが経営統合する方向で調整と伝わっている。再編期待は他の地銀株にも波及し、地銀株と連動性の高い同社にもプラスの影響を与えよう。



ニトリホールディングス 東証プライム<9843>

週足ベースのローソク足。先週は9月高値を超えて上ヒゲを伸ばし、3本連続陽線で終了。高値、安値、終値を連続して切り上げる「赤三兵」で買い気の強さを窺わせた。先週は上下に長いヒゲを形成して売り買い拮抗を窺わせたため、今週も値動きはやや荒くなりそうだが、先々週に26・52週移動平均線がゴールデンクロスを示現して中長期の上げ相場入りを示唆しており、2月高値3493円を通過点に上値を拡張する展開が期待される。



ミニストップ 東証プライム<9946>

日足ベースの一目均衡表。先週は10月22日までローソク足が4本連続陽線を描き、週末23日は陰線ながら雲中まで上ヒゲを伸ばし、買い意欲の強まりを窺わせた。下降基調にあった基準線が上向いたほか、上向きの転換線が基準線を抜いて短期的な上昇トレンド継続を示唆している。今週28日にかけて応当日株価下落で遅行線の強気シグナル発生のハードルが下がることもあり、株価の雲上限抜けによる地合い好転が期待できよう。



テーマ別分析:IT 人材不足が深刻化、関連サービスに商機

■IT 人材の需給逼迫、専門人材サービスに注目

企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) やサイバーセキュリティ対策の強化を背景に、IT 人材の需要が拡大している。デジタル技術の活用が幅広い業種に浸透する一方、専門的な知識や技術を持つ人材の確保は容易ではなく、企業の採用競争が激しさを増している。特に足元では、企業や団体を標的としたサイバー攻撃が相次いでおり、情報セキュリティ分野で即戦力となる人材への需要が高まっている。

こうした IT 人材の需給逼迫を背景に、派遣社員の募集時平均時給も上昇傾向にあり、IT・エンジニア系の伸びが目立っている。企業にとって専門人材を自社で確保・育成するには時間やコストを要することから、外部人材の活用は今後も広がるとみられる。また、IT 投資の高度化に伴い、特定の技術や専門領域に精通した人材を柔軟に確保するニーズも強まりそうだ。下表では、IT エンジニア派遣やフリーランス人材のマッチング、人材紹介などを手掛ける関連企業を取り上げている。

■主な「IT 人材サービス」関連銘柄

コード	銘柄略称	市場	10/23 株価 (円)	概要
2124	JACR	プライム	1,106	IT・デジタル領域を含む専門職や管理職の人材紹介を展開。
2154	オープンアップG	プライム	2,065	IT・機電分野などの技術者派遣サービスを展開。
2181	パーソルHD	プライム	297	IT技術者派遣やフリーランス人材の活用支援を展開。
2410	キャリアデザインC	プライム	2,627	ITエンジニアの転職支援や人材派遣サービスを展開。
2429	ワールドHD	プライム	2,846	子会社を通じてITエンジニアの派遣やシステム開発を展開。
3900	クラウドワークス	グロース	692	ITフリーランスを含む専門人材のマッチングを展開。
4194	ビジョナル	プライム	9,582	「ビズリーチ」を通じてIT・デジタル人材の採用を支援。
4849	エン	プライム	1,850	「エン派遣」を運営し、IT系を含む派遣求人情報を提供。
6089	ウィルG	プライム	1,158	ITエンジニアを含む専門人材の派遣・紹介を手掛ける。
6199	セラク	スタンダード	1,523	ITインフラの構築・運用やシステム開発などを技術者が支援。
6554	エスユーエス	グロース	1,108	IT分野を主力に技術者派遣やシステム開発受託を展開。
7059	コプロ・HD	プライム	931	建設技術者派遣を主力とし、ITエンジニア派遣事業も展開。
7352	TWOSTONE&Sons	グロース	460	「Midworks」でフリーランスITエンジニアを仲介。
9556	INTLOOP	グロース	2,099	ITコンサルタントやフリーランス人材の活用を支援。
9744	メイテックGHD	プライム	3,388	設計・開発領域を中心に技術者派遣サービスを展開。

出所：フィスコ作成

200 日移動平均線を支持線としたリバウンドの動きに注目

■日経平均は 1 年 4 カ月ぶりに 200 日線にタッチ

先週末の日経平均は一時 1445 円安となり、200 日移動平均線をわずかに下回る形にもなった。200 日線を割り込んだのは 25 年の 6 月以来 1 年 4 カ月ぶりともみられる。先週末は 200 日線タッチ後に大きく下げ渋る展開となっており、いったん調整一巡感が強まる状況になったとも捉えられる。目先のには売られ過ぎからのリバウンドを試す展開になるとも考えられ、短期的に大きく下げた主力株に注目してみたい。日経平均が終値で 70000 円台に乗せて直近高値となった 10 月 6 日からの下落率が 30%以上の銘柄をスクリーニング、総じて高い売上成長を続けている銘柄も多くなっている。

スクリーニング要件としては、①10 月 6 日終値比で株価下落率が 30%以上、②時価総額が 2000 億円以上。

■短期株価調整の大きい主力銘柄

コード	銘柄	市場	10/23株価 (円)	時価総額 (億円)	株価騰落率 (%)	売上高年平均成長率 (%)	予想 1株利益 (円)
285A	キオクシアHD	プライム	12,755.0	209936.7	-31.92	17.0	-
3436	SUMCO	プライム	2,347.5	8220.4	-36.96	-1.9	-
4062	イビデン	プライム	8,512.0	48285.4	-31.35	6.0	149.68
5801	古河電気工業	プライム	2,894.5	20454.5	-35.53	11.2	149.25
5803	フジクラ	プライム	4,037.0	71664.1	-31.05	21.6	196.88
6525	KOKUSAI ELECTRIC	プライム	6,822.0	16244.3	-33.96	14.0	237.63
6777	santecHD	スタンダード	17,790.0	2127.9	-30.32	29.2	748.28
6787	メイコー	プライム	18,400.0	4931.8	-32.60	15.8	1051.95
6890	フェローテック	スタンダード	7,840.0	4239.2	-35.37	14.0	683.66
6963	ローム	プライム	3,732.0	15068.3	-30.20	1.4	75.12
9984	ソフトバンクグループ	プライム	4,276.0	244238.6	-32.07	7.4	-

(注) 株価騰落率は10月6日終値比

(注) 売上高年平均成長率は今期予想含まず3年間

出所：フィスコアプリより作成

社員 1 人当たり売上・営業利益が大きい会社

■少数精鋭の高生産性企業に注目

東海東京インテリジェンス・ラボは、生産性の高い企業に注目している。同証券では、TBS「がっちりマンデー」でAi ロボティクス<247A>が社員 1 人当たり売上高の高い企業として紹介されたことを受け、時価総額 500 億円以上の上場企業を対象に、社員 1 人当たり売上高と営業利益を比較している。Ai ロボティクスを上回る社員 1 人当たり売上高となったのはトーメンデバイス<2737>だったほか、社員 1 人当たり営業利益では INPEX<1605>がトップだったという。社員 1 人当たりの売上や利益が大きい企業は、社員の生産性が高いことを意味すると捉えている。

「社員 1 人当たり売上・営業利益が大きい会社」(東海東京インテリジェンス・ラボ)

コード	銘柄名	決算期	年初来 株価変化率 (%)	時価総額 (10億円)	売上 (100万円)	営業利益 (100万円)	従業員1名当たり		期末時点 従業員数 (人)	1人当たり 平均年収 (100万円)
							売上 (100万円)	営業利益 (100万円)		
従業員1人当たり売上が高い企業										
2737	トーメンデバイス	2026/03	212.2	280.9	633,668	18,784	3137.0	93.0	202	9.7
247A	Aiロボティクス	2026/03	-43.0	56.9	29,359	3,802	815.5	105.6	36	16.0
3252	地主	2025/12	-11.3	58.3	76,327	8,603	658.0	74.2	116	17.5
5857	ARE HD	2026/03	7.8	299.2	569,992	37,088	571.1	37.2	998	8.0
5019	出光興産	2026/03	33.0	1924.1	8,105,891	212,203	563.2	14.7	14,392	10.0
1605	INPEX	2025/12	20.0	4723.0	2,011,351	1,135,440	540.7	305.2	3,720	13.2
3482	ロードスターキャピタル	2025/12	-1.7	53.0	44,633	13,415	525.1	157.8	85	12.4
166A	タスキHD	2025/09	25.2	61.7	74,412	8,815	506.2	60.0	147	7.0
2782	セリア	2026/03	13.6	299.9	255,695	20,968	451.8	37.0	566	5.7
3107	ダイワボウHD	2026/03	16.1	316.5	1,350,879	44,169	439.7	14.4	3,072	9.3
2053	中部飼料	2026/03	13.0	59.4	211,814	6,584	417.0	13.0	508	7.9
5021	コスモエネルギーHD	2026/03	-0.8	683.6	2,677,582	144,790	401.1	21.7	6,675	11.9
2986	LA HD	2025/12	-1.0	63.4	46,544	10,024	394.4	84.9	118	7.9
7456	松田産業	2026/03	27.3	180.8	687,843	22,437	390.6	12.7	1,761	6.8
5020	ENEOS HD	2026/03	27.3	3815.2	11,765,470	466,627	345.0	13.7	34,099	11.4
7148	FPG	2025/09	-15.0	136.8	129,764	25,417	338.8	66.4	383	10.2
2733	あらた	2026/03	-18.5	90.5	1,004,749	13,207	334.0	4.4	3,008	6.2
3038	神戸物産	2025/10	-23.5	793.2	551,701	39,878	329.6	23.8	1,674	5.3
2060	フィード・ワン	2026/03	35.7	55.3	290,675	8,091	310.9	8.7	935	7.7
7181	かんぽ生命保険	2026/03	7.7	1835.0	5,625,758	NA	304.3	NA	18,487	7.3
従業員1人当たり営業利益が高い企業										
1605	INPEX	2025/12	20.0	4723.0	2,011,351	1,135,440	540.7	305.2	3,720	13.2
3350	メタプラネット	2025/12	-32.1	376.5	8,905	6,287	254.4	179.6	35	16.0
3482	ロードスターキャピタル	2025/12	-1.7	53.0	44,633	13,415	525.1	157.8	85	12.4
7164	全国保証	2026/03	-2.4	419.4	58,739	41,382	155.4	109.5	378	8.5
6920	レーザーテック	2025/06	53.0	4277.8	251,477	122,843	216.2	105.6	1,163	16.8
247A	Aiロボティクス	2026/03	-43.0	56.9	29,359	3,802	815.5	105.6	36	16.0
8628	松井証券	2026/03	30.1	288.3	52,660	23,462	232.0	103.4	227	11.5
5842	インテグラル	2025/12	-15.9	97.7	13,651	9,256	139.3	94.4	98	21.4
2737	トーメンデバイス	2026/03	212.2	280.9	633,668	18,784	3137.0	93.0	202	9.7
8697	日本取引所グループ	2026/03	30.6	2258.6	198,735	116,289	156.7	91.7	1,268	11.1
8818	京阪神ビルディング	2026/03	-3.9	90.3	20,255	5,646	306.9	85.5	66	11.1
2986	LA HD	2025/12	-1.0	63.4	46,544	10,024	394.4	84.9	118	7.9
9672	東京都競馬	2025/12	-16.2	133.7	41,758	15,414	210.9	77.8	198	7.3
4519	中外製薬	2025/12	-26.7	10141.5	1,257,941	598,833	159.8	76.1	7,872	13.5
4686	ジャストシステム	2026/03	-4.9	308.9	51,515	22,492	170.6	74.5	302	16.5
3252	地主	2025/12	-11.3	58.3	76,327	8,603	658.0	74.2	116	17.5
368A	北里	2026/03	-9.3	56.8	10,947	5,858	131.9	70.6	83	4.8
6417	SANKYO	2026/03	-16.6	487.5	179,211	62,484	200.2	69.8	895	9.3
6857	アドバンテスト	2026/03	105.7	29558.2	1,128,610	499,120	155.9	68.9	7,241	11.0
7564	ワークマン	2026/03	-20.8	426.4	160852.0	29,676	365.6	67.4	440	8.0

注：株価は 10 月 14 日時点。その他データは 2025 年度時点。時価総額 500 億円以上の全上場企業。従業員 1 名当たり売上・営業利益(売上・営業利益/期末時点の従業員数) の上位 20 社。期末従業員数に連結ベース。このリストは推奨銘柄でない

出所：QUICK Workstation より東海東京インテリジェンス・ラボ作成

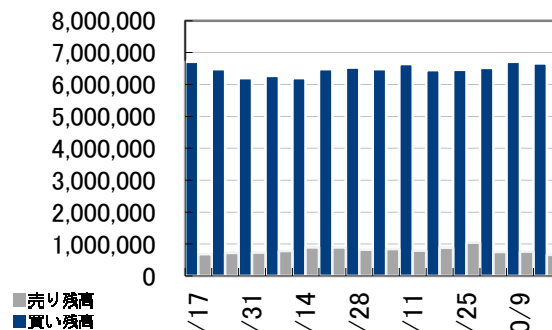
リスク回避ムードが強まるなかで買い方も持ち高解消

10月16日時点の2市場信用残高は、買い残高が440億円減の6兆6640億円、売り残高が949億円減の6670億円。買い残高が4週間ぶりの減少、売り残高は2週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は-6.58%から-10.41%、売り方の評価損益率は19.17%から12.75%に。なお、信用倍率は8.80倍から9.99倍となった。

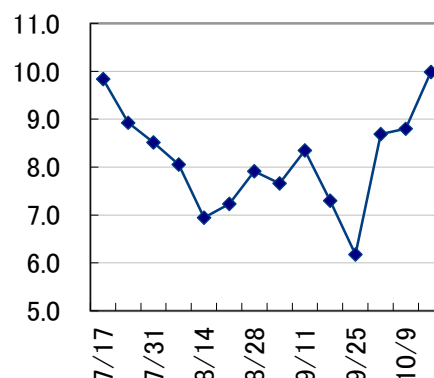
この週（10月13日-16日）の日経平均は前週末比3706.63円安の65324.29円。3連休明けは続落のスタート。中国メモリ大手のCXMTが記憶容量を高めた新製品の開発で重要な進展があったと伝わり、前日の米国市場で半導体関連株が競争激化への懸念から売り優勢となったことが主因。さらに、15日には3318円安と、過去3番目の下げ幅を記録するなど一段安の展開となった。米コアウィーブの信用不安が強まり、人工知能（AI）・半導体関連株の強い売り材料につながった。週末は、米エヌビディアのファン最高経営責任者（CEO）がコアウィーブに楽観的な見方を示し、過度な警戒感が後退した。

個別では、ソディック<6143>の信用倍率は0.27倍と前週の1.07倍から売り長の需給になった。10月5日に株式売出しを発表し、それ以降は短期的な需給懸念による新規売りのほか、ディスカウント価格での引き受けを狙ったヘッジ対応の新規売りが積み上がっている。14日に売却価格が決まり、同日の終値（1600円）に対するディスカウント率は4.16%だったことで、週末にかけて新規売りが積み上がっている。泉州電業<9824>の信用倍率は0.15倍と、前週から一段と売り長になった。配当の増額修正を手掛かりに連日で最高値を更新。過熱感からの新規売りのほか、ノーリスクで優待取りを狙った新規売りが積みあがったようだ。武田薬品<4502>も一段と売り長に。睡眠障害治療薬を日中で発売したと発表。株価は約8年8カ月ぶりの高値をつけるなかで、割高警戒からの新規売りが増加。

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	10/23終値 (円)	信用買残 (10/16:株)	信用売残 (10/16:株)	信用倍率 (10/16:倍)	信用買残 (10/9:株)	信用売残 (10/9:株)	信用倍率 (10/9:倍)
6143	プライム	ソディック	1,435.0	1,041,900	3,798,600	0.27	1,082,700	1,009,000	1.07
9824	プライム	泉州電業	7,860.0	31,800	208,100	0.15	32,100	63,800	0.50
3038	プライム	神戸物産	3,013.0	1,133,000	7,839,800	0.15	1,233,000	4,357,600	0.28
4502	プライム	武田薬品工業	6,389.0	397,100	787,100	0.51	558,400	578,800	0.97
7203	プライム	トヨタ自動車	3,105.0	13,849,100	2,164,700	6.40	18,343,600	1,649,200	11.12
7453	プライム	良品計画	4,715.0	543,200	670,000	0.81	732,300	536,300	1.37
8801	プライム	三井不動産	1,582.0	2,856,500	1,712,900	1.67	3,397,100	1,244,800	2.73
9983	プライム	ファーストリテ	75,880.0	331,300	182,600	1.81	463,500	161,400	2.87
3563	プライム	FOOD & LIFE	5,816.0	670,100	244,600	2.74	948,100	220,000	4.31
8766	プライム	東京海上HD	572.2	34,773,000	2,446,200	14.22	43,938,400	2,002,100	21.95
6758	プライム	ソニーグループ	4,137.0	4,589,600	412,000	11.14	5,707,200	332,500	17.17
9861	プライム	吉野家HD	4,343.0	47,400	272,600	0.17	64,300	242,100	0.27
8237	プライム	松屋	2,639.0	99,000	399,600	0.25	143,200	389,200	0.37
5076	プライム	インフロニア・HD	2,257.5	4,275,100	1,965,200	2.18	4,263,100	1,346,000	3.17
8136	プライム	サンリオ	1,303	12,501,900	1,901,500	6.58	16,005,800	1,680,400	9.53

コラム:「国際通貨」期待の後退

欧州で反政府抗議活動が拡大し、政情不安が高まっています。財政不安を抱えるフランスでは暴動が激化し、ユーロ売りを誘発。ドル離れが意識されるなか、欧州の長年の構造問題が改めて浮上し、ドルに代わる国際通貨としてのユーロへの期待にも影を落としています。

抗議の背景にあるのは、物価高と暮らしへの不満です。ポルトガルでは前週末に数万人が首都リスボンでデモ行進しました。住宅価格はここ10年間で2倍以上となり、賃金が家賃や食料品の値上がりには追いつきません。ベルギーでも財政支出の削減に反発する人々が警官隊と衝突。移民問題だけで説明できない、家計と公共サービスを巡る対立が広がっています。

特に深刻なのがフランス。教育環境の悪化や生活費高騰への抗議が各地に拡大し、放火や略奪が発生しました。政府は治安回復を急ぐものの、背景には歳出削減への根強い抵抗があります。国民の要求に応じて支援を増やせば財政赤字が膨らみ、引き締めを続ければ反発を招くという板挟みに。金融市場は敏感に反応しています。フランス国債が売られ、10年債利回りは5%を突破しました。

信用力の高いドイツ国債との金利差も拡大。財政再建への信頼が揺らぐほど、投資家はフランスに高い金利を求めます。銀行株も下落し、ユーロには売り圧力がかかりました。国債価格の下落は保有する金融機関の資産価値を損ない、融資姿勢を慎重にさせる要因にもなります。混乱がイタリアなどに及べば、欧州全体の資金調達環境にも響きます。

こうした展開は、ユーロの制度的な弱点を浮き彫りにしています。通貨と金融政策は共通でも、税制や予算は各国が決めます。財政の立て直しを急ぐ国と、生活支援を優先する国では利害が異なり、対応が遅れがちです。さらに米国債のように巨額の資金を一括して受け入れる、統一された安全資産の市場も十分に育っていません。ただし、欧州中銀(ECB)によれば、ユーロの国際的な利用比率は約2割で、ドルに次ぐ地位を保っています。

ユーロの信認が消えたわけではありませんが、ドルへの依存を減らしたい投資家にとって、欧州の政治的な分断は見逃せない障害です。今後は暴動の規模以上に、フランスの予算審議と独仏国債の金利差が焦点となります。過去の欧州債務危機でも、財政不安と緊縮策への反発が重なり、通貨への信頼が傷つきました。今回はユーロ圏の中核国フランスが揺れているだけに、影響を軽視できません。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-8
2	レーティング	格上げ・買い推奨	9
		格下げ・売り推奨	10
3	投資主体別売買動向	総括コメント	
		市場別データ	
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	11
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄（プライム）	12
		雲下抜け銘柄（プライム）	13

10月26日～11月1日※全て日本時間に表示

日付	曜日	時間	内容
10月26日	月	14:00	景気一致指数(8月)
		14:00	景気先行CI指数(8月)
		18:00	独・IFO企業景況感指数(10月)
		20:00	ブ・FGV消費者信頼感(10月)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
		20:30	ブ・経常収支(9月)
		20:30	ブ・海外直接投資(9月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
10月27日	火	08:50	企業向けサービス価格指数(9月)
		10:30	中・工業利益(9月)
		15:30	日本取引所グループの山道CEOが定例会見
		17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(先週)
		18:00	欧・ユーロ圏マネーサプライ(9月)
		20:00	ブ・FGV建設コスト(10月)
		21:30	米・耐久財受注(9月)
		22:00	米・FHFA住宅価格指数(8月)
		22:00	米・主要20都市住宅価格指数(8月)
		23:00	米・新築住宅販売件数(9月)
		23:00	米・消費者信頼感指数(10月)
			月例経済報告(10月)
			米・連邦公開市場委員会(FOMC)(28日まで)
			イスラエル・総選挙
10月28日	水	10:00	NZ・ニュージーランド準備銀行(中央銀行)が政策金利発表
		10:10	国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年、物価連動債)(日本銀行)
		19:30	印・鉱工業生産(9月)
		21:30	米・卸売在庫(9月)
		27:00	米・FOMC終了後、ウォーシュ連邦準備制度理事会(FRB)議長が記者会見
			欧州系ファンドのEQTIによるカカコムへのTOB期限

10月26日～11月1日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
10月29日	木	08:50	対外・対内証券投資(先週)
		14:00	消費者態度指数(10月)
		19:00	欧・ユーロ圏景況感指数(10月)
		19:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(10月)
		20:00	ブ・FGVインフレIGPM(10月)
		20:30	ブ・ローン残高(9月)
		20:30	ブ・融資残高(9月)
		20:30	ブ・個人ローン・デフォルト率(9月)
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・GDP速報値(7-9月)
		21:30	米・個人所得(9月)
		21:30	米・個人消費支出(9月)
		21:30	米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(9月)
		22:15	欧・欧州中央銀行(ECB)が政策金利発表、ラガルド総裁が記者会見
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)
			欧州連合(EU)・カナダサミット(30日まで)
10月30日	金	08:30	東京CPI(10月)
		08:30	有効求人倍率(9月)
		08:30	失業率(9月)
		08:50	鉱工業生産(9月)
		08:50	小売売上高(9月)
		08:50	百貨店・スーパー売上高(9月)
		14:00	住宅着工件数(9月)
		15:30	植田日銀総裁が会見
		17:55	独・失業率(10月)
		19:00	欧・ユーロ圏GDP(7-9月)
		19:00	欧・ユーロ圏失業率(9月)
		19:30	印・財政赤字(9月)
		20:30	印・銀行融資残高(9月)
		20:30	印・外貨準備高(先週)
		20:30	ブ・基礎的財政収支(9月)
		20:30	ブ・純債務対GDP比(9月)
		21:00	ブ・全国失業率(9月)
		21:30	米・雇用コスト指数(7-9月)
		22:00	独・CPI(10月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表
			トグルホールディングスが東証グロースに新規上場(公開価格:4040円)
			米・セントルイス連銀総裁が基調講演
			G20外相会議(31日まで)
10月31日	土	10:30	中・製造業PMI(10月)
		10:30	中・非製造業PMI(10月)
		10:30	中・総合PMI(10月)
11月1日	日		米・夏時間終了

■(加)カナダ銀行(中央銀行、BOC)政策金利発表**10月28日(水)午後10時45分発表予定**

(予想は、2.25%に据え置き) 前回9月会合では政策金利を据え置いたものの、中東情勢を背景としたエネルギー価格の高止まりや米国との通商摩擦を背景に、インフレ上振れリスクへの警戒を強めた。今回も据え置きが有力視されているが、同時に公表される金融政策報告では物価見通しの上方修正が見込まれており、今後の追加利上げにどの程度前向きな姿勢を示すかが焦点となる。

■(米)7-9月期国内総生産(GDP)速報値**10月29日(木)午後9時30分発表予定**

(予想は、前期比年率+3.0%) 29日発表の米7-9月期国内総生産(GDP)速報値は前期比年率+3.0%と、4-6月期の同+2.2%を上回る見通し。市場予想を上回る成長が確認されれば、米景気の底堅さが意識され、ドル買いにつながる可能性がある。また、中間選挙直前の成長を示す指標は、与党にとって好材料になる可能性も。

■(欧)欧州中央銀行(ECB)政策金利発表**10月29日(木)午後10時15分発表予定**

(予想は、2.65%に据え置き) 前回9月会合では0.25%の利上げを実施したが、今回は据え置きが有力視されている。9月のユーロ圏消費者物価指数(CPI)は前年比+3.8%とECBの目標を大きく上回っており、エネルギー価格上昇によるインフレ圧力が続いている。焦点はラガルド ECB 総裁の記者会見で、12月の追加利上げにどの程度前向きな姿勢を示すかとなろう。インフレ警戒を強調するタカ派的な内容となればユーロ買い、景気への配慮を重視する姿勢が示されればユーロの上値を抑える可能性がある。

■(日)日本銀行金融政策決定会合**10月30日(金)正午前後発表見込み**

(予想は、1.25%に据え置き) 前回9月会合では政策金利を1.00%から1.25%へ引き上げたが、今回は据え置きが有力視されている。ただし、原油高などによる物価上昇圧力が続く中、同時に公表される「経済・物価情勢の展望」では27年度の物価見通しが上方修正される可能性がある。焦点は植田日銀総裁の記者会見で、12月以降の追加利上げにどの程度踏み込むかとなろう。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月26日	1718	美樹工業	スタンダード	15:30	10月28日	5994	ファインシンター	スタンダード	16:00
	2211	不二家	プライム	15:30		6023	ダイハツイン	スタンダード	13:00
	3635	コーエーテクモ	プライム	16:00		6382	トリニエ	スタンダード	15:00
	6230	SANEI	スタンダード	12:00		6470	大豊工業	スタンダード	14:00
	6663	太洋テクノ	スタンダード	15:30		6501	日立	プライム	15:00
	6923	スタンレ電	プライム	15:00		6526	ソシオネクスト	プライム	15:00
	7970	信越ポリ	プライム	15:00		6701	NEC	プライム	15:00
	8060	キャノンMJ	プライム	15:00		6807	航空電	プライム	15:30
	8190	ヤマナカ	名証			6857	アドバンテ	プライム	15:00
						6955	FDK	スタンダード	15:00
10月27日	2212	山崎パン	プライム	15:30	10月29日	6995	東海理化	プライム	
	3911	Aiming	グロース	15:00		7241	フタバ	プライム	16:00
	4063	信越化	プライム	15:00		7276	小糸製	プライム	15:00
	4479	マクアケ	グロース	15:00		7283	愛三エ	プライム	15:00
	4519	中外薬	プライム	17:00		8595	JAFCO	プライム	12:00
	4684	オービック	プライム	15:30		8604	野村HD	プライム	15:30
	4733	OBC	プライム	15:00		8628	松井証	プライム	11:30
	4765	SBIGアセット	プライム			8871	ゴールドクレ	スタンダード	15:30
	4973	高純度化	プライム	16:00		8914	エリアリンク	スタンダード	12:00
	5279	日興業	スタンダード	16:00		9022	JR東海	プライム	15:00
	5344	MARUWA	プライム	15:00		9115	明海G	スタンダード	
	5532	リアルゲイト	グロース	15:00		9307	杉村倉	スタンダード	16:00
	5609	日鑄造	スタンダード	15:30		9698	クレオ	スタンダード	15:00
	5911	横河FHD	プライム	15:30		9932	杉本商	プライム	11:00
	6337	テセック	スタンダード	15:00		1946	トーエネク	プライム	15:00
	6988	日東電	プライム	16:00		1959	クラフティア	プライム	15:00
	7102	日車輛	プライム	15:00		2060	フィード・ワン	プライム	15:30
	7175	今村証券	スタンダード	15:30		2175	SMS	プライム	15:30
	7299	オーゼックス	スタンダード	16:00		2317	システナ	プライム	16:00
	7309	シマノ	プライム	15:00		2491	Vコマース	プライム	16:00
	7646	PLANT	スタンダード	15:00		2594	キーコーヒー	プライム	14:00
	7751	キャノン	プライム	15:00		2914	JT	プライム	15:30
	8218	コメリ	プライム	15:30		3092	ZOZO	プライム	15:30
	8697	JPX	プライム	12:00		3116	トヨタ紡織	プライム	14:00
	8892	エスコン	プライム	15:30		3199	綿半HD	プライム	15:00
	9629	ビーシーエー	プライム	15:30		3231	野村不HD	プライム	15:30
	9697	カブコン	プライム	15:00		3426	アトムリピン	スタンダード	15:30
	9733	ナガセ	スタンダード	15:30		3793	ドリコム	グロース	15:00
	9782	ディーエムエス	スタンダード	15:30		3799	キーウェア	スタンダード	16:00
10月28日	1930	北電事	プライム	13:00		3891	高度紙	スタンダード	14:00
	1934	ユアテック	プライム	12:00		4043	トクヤマ	プライム	09:00
	2002	日清粉G	プライム	15:30		4062	イビデン	プライム	
	2359	コア	プライム	15:30		4113	田岡化	スタンダード	15:00
	2664	カワチ薬品	プライム	15:30		4205	ゼオン	プライム	11:00
	2737	トーメンデバ	プライム	13:00		4212	積水樹	プライム	16:00
	2760	東エレデバ	プライム	15:30		4221	大倉工	プライム	12:00
	3003	ヒューリック	プライム	11:00		4262	ニフティライフ	グロース	08:00
	368A	北里	プライム			4290	PI	プライム	16:00
	3771	システムリサーチ	プライム	15:00		4307	NRI	プライム	15:30
	3778	さくら	プライム	12:00		4308	Jストリーム	グロース	15:00
	3839	ODK	スタンダード	15:40		4345	シーティーエス	プライム	13:00
	3850	イントラマート	スタンダード	15:00		4347	プロメディア	スタンダード	15:00
	3969	エイトレッド	スタンダード	15:30		4366	ダイソーケミ	スタンダード	
	4373	シンプレクスH	プライム	15:00		4461	一工業	プライム	14:00
	4644	イマジニア	スタンダード	15:00		4498	サイバトラスト	グロース	15:30
	4722	フューチャー	プライム	16:00		4502	武田	プライム	15:30
	4832	JFE-SI	スタンダード	15:00		4507	塩野義	プライム	13:00
	4956	コニシ	プライム	11:00		4528	小野薬	プライム	12:00
	5659	日精線	プライム			4549	栄研化	プライム	15:00
	5834	SBIリーシング	グロース	11:00		4552	JCRファーマ	プライム	15:00
	5992	中発条	スタンダード	14:00					

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月29日	4582	シンバイオ	グロース		10月30日	8708	アイザワ証G	プライム	14:00
	4661	OLC	プライム	16:00		8864	空港施設	スタンダード	15:00
	4826	CIJ	プライム	14:00		8898	センチュリー21	スタンダード	16:00
	5471	大特鋼	プライム	11:00		9046	神電鉄	スタンダード	15:00
	5482	愛知鋼	プライム	14:00		9081	神奈交	プライム	15:00
	5832	ちゅうぎ	プライム	14:00		9158	シーユーシー	グロース	15:00
	5906	MK精工	スタンダード	15:30		9202	ANA	プライム	15:30
	5909	コロナ	スタンダード	15:00		9368	キムラユニティー	スタンダード	11:00
	6035	IRJHD	スタンダード			9436	沖縄セルラー	スタンダード	15:30
	6111	旭精機	名証			9474	ゼンリン	プライム	13:00
	6161	エスティック	スタンダード	15:00		9501	東電力HD	プライム	17:00
	6301	コマツ	プライム	14:30		9502	中部電	プライム	16:00
	6305	日立建	プライム	15:00		9503	関西電	プライム	16:00
	6345	アイチコーポ	プライム	15:40		9505	北陸電	プライム	15:30
	6349	小森	プライム	15:30		9531	東ガス	プライム	
	6419	マースGHD	プライム	16:00		9532	大ガス	プライム	15:00
	6436	アマノ	プライム	15:00		9533	邦ガス	プライム	11:40
	6454	マックス	プライム	15:30		9534	北ガス	プライム	14:00
	6471	日精工	プライム	15:30		9536	西部ガスH	プライム	16:00
	6473	ジェイテクト	プライム	15:00		9551	メタウォーター	プライム	15:30
	6504	富士電機	プライム	15:00		9640	セゾンテクノ	スタンダード	15:00
	6516	山洋電	プライム	11:00		9701	東会館	スタンダード	
	6702	富士通	プライム	15:00		9708	帝国ホテル	スタンダード	14:00
	6723	ルネサス	プライム	09:00		9709	NCS&A	スタンダード	16:00
	6754	アンリツ	プライム	15:00		9744	メイテックGHD	プライム	11:00
	6810	マクセル	プライム	15:00		9759	NSD	プライム	15:30
	6822	大井電気	スタンダード	15:00		9766	コナミG	プライム	15:30
	6823	リオン	プライム	15:30		9795	ステップ	プライム	15:30
	6861	キーエンス	プライム	16:00		9818	大丸エナ	スタンダード	14:00
	6902	デンソー	プライム	11:00		9889	JBCCHD	プライム	11:00
	6912	菊水HD	スタンダード	16:00		9969	ショクブン	スタンダード	15:00
	7022	サノヤスHD	スタンダード	15:00		1777	川崎設備	名証	
	7148	FPG	プライム	16:00		1850	南海辰村	スタンダード	14:00
	7185	ヒロセ通商	スタンダード			1878	大東建	プライム	11:30
	7191	イントラスト	スタンダード	15:00		1939	四電工	プライム	16:00
	7259	アイシン	プライム	13:00		1941	中電工	プライム	15:00
	7278	エクセディ	プライム	16:00		1942	関電工	プライム	13:00
	7282	豊田合	プライム	13:00		1944	きんでん	プライム	15:00
	7419	ノジマ	プライム	08:00		1950	日本電設	プライム	14:00
	7477	ムラキ	スタンダード	16:00		1964	中外炉	プライム	14:00
	7687	ミクリード	グロース	16:00		1972	三晃金	スタンダード	14:00
	7919	野崎印	スタンダード	15:00		1976	明星工	プライム	15:00
	7939	研創	スタンダード	12:00		2053	中部飼	プライム	14:00
	7949	小松ウオル	プライム	15:00		2109	DM三井糖	プライム	15:00
	7950	日デコラ	名証			2121	MIXI	プライム	15:00
	7962	キングジム	プライム	16:00		2127	日本M&A	プライム	15:00
	7976	菱鉛筆	プライム	15:00		2130	メンバーズ	プライム	14:00
	7981	タカラスタン	プライム	12:00		2152	幼児活動	スタンダード	16:00
	7984	コクヨ	プライム	16:00		2208	ブルボン	スタンダード	
	7989	ブラインド	プライム	14:00		2216	カンロ	スタンダード	13:00
	8015	豊通商	プライム	15:00		2281	プリマハム	プライム	15:30
	8071	東海エレ	名証			2326	デジアーツ	プライム	16:00
	8174	日ガス	プライム	15:00		2393	日本ケア	スタンダード	15:30
	8609	岡三	プライム	11:00		2428	ウェルネット	スタンダード	
	8613	丸三証	プライム	12:00		2479	ジェイテック	スタンダード	15:30
	8614	東洋証	プライム	16:00		2481	タウンニュース	スタンダード	15:00
	8622	水戸証	プライム	11:00		2492	インフオマート	プライム	15:00
	8624	いちよし	プライム	13:00		2579	コカコーラBJH	プライム	15:00
	8699	HSHD	スタンダード	16:00		2689	オルパDVx	スタンダード	15:30
	8706	極東証券	プライム	11:25		2768	双日	プライム	12:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月30日	2782	セリア	スタンダード	15:30		5214	日電硝	プライム	15:00
	2805	エスピー	スタンダード	14:00		5257	ノバシステム	スタンダード	13:00
	285A	キオクシアHD	プライム	18:45		5280	ヨシコン	スタンダード	
	2883	大冷	スタンダード	14:00		5332	TOTO	プライム	15:00
	2892	日食品	スタンダード	12:00		5333	NGK	プライム	15:00
	2908	フジッコ	プライム	14:00		5334	特殊陶	プライム	16:00
	2926	篠崎屋	スタンダード	15:00		5386	鶴弥	名証	
	3004	神栄	スタンダード	12:00		5388	クニミネ工	スタンダード	15:30
	303A	visumo	グロース	16:00		5410	合同鉄	プライム	
	3104	フジボウHD	プライム	11:30		5440	共英製鋼	プライム	13:00
	3137	ファンデリー	スタンダード	15:30		5445	東京鉄	プライム	13:00
	3153	八洲電機	プライム	13:00		5458	高砂鉄	スタンダード	14:00
	3190	ホットマン	スタンダード	11:00		5464	モリ工業	スタンダード	13:00
	3352	パッファロー	スタンダード	15:00		5480	冶金工	プライム	15:30
	3388	明治電機	プライム	15:00		5491	日金属	スタンダード	13:00
	3439	ミツ知	スタンダード	15:30		5603	虹技	スタンダード	
	3482	ロードスター	プライム	15:00		5612	鑄鉄管	スタンダード	15:00
	3512	日フェルト	スタンダード	14:00		5802	住友電	プライム	15:00
	3542	VEGA	グロース			5929	三和HD	プライム	11:00
	3553	共和レザ	スタンダード	15:30		5936	洋シヤタ	スタンダード	16:00
	3622	ネットイヤー	スタンダード	15:30		5938	LIXIL	プライム	13:00
	3640	電算	スタンダード	15:50		5959	岡部	プライム	15:30
	3648	AGS	スタンダード	16:00		6042	ニッキ	スタンダード	15:00
	3762	テクマトリックス	プライム	15:00		6080	M&Aキャピ	プライム	15:30
	3776	プロバンタワ	スタンダード	12:00		6099	エラン	プライム	15:00
	3835	eBASE	プライム	16:00		6135	牧野フ	プライム	15:00
	3836	アバントG	プライム	15:30		6141	DMG森精	プライム	15:00
	3946	トーモク	プライム	15:00		6157	日進工具	スタンダード	16:00
	4045	東亜合成	プライム	14:00		6185	SMN	スタンダード	15:30
	4204	積水化	プライム	15:30		6196	ストライクG	プライム	15:00
	4216	旭有機材	プライム	16:00		6222	島精機	プライム	15:30
	4220	リケンテクノス	プライム	14:00		6262	PEGASUS	スタンダード	15:00
	4228	積化成	プライム			6292	カワタ	スタンダード	12:00
	4229	群栄化	プライム	15:00		6302	住友重	プライム	14:00
	4248	竹本容器	スタンダード	15:00		6325	タカキタ	スタンダード	13:00
	4318	クイック	プライム	15:30		6331	化工機	プライム	15:00
	4362	日精化	プライム	16:00		6356	日ギア	スタンダード	13:00
	4368	扶桑化学	プライム	16:00		6371	椿本チ	プライム	15:00
	4410	ハリマ化成G	プライム	13:00		642A	キューデンHD	プライム	15:00
	4417	グローセキユ	グロース	16:00		6455	モリタHD	プライム	15:00
	4462	石原ケミカル	プライム			6472	NTN	プライム	
	4463	日華化学	スタンダード	15:00		6488	ヨシタケ	スタンダード	15:00
	4506	住友ファーマ	プライム	15:30		6493	NITTAN	スタンダード	16:00
	4531	有機薬	スタンダード	15:00		6503	三菱電	プライム	15:30
	4539	日ケミファ	スタンダード	15:00		6508	明電舎	プライム	15:30
	4565	ネクセラファーマ	プライム	15:00		6518	三相電機	スタンダード	15:00
	4568	第一三共	プライム	13:00		6557	AIAI	グロース	15:00
	4578	大塚HD	プライム	13:00		6565	ABホテル	名証	
	4617	中国塗	プライム	15:00		6586	マキタ	プライム	15:00
	4658	日本空調	プライム	16:00		6617	東光高岳	プライム	14:00
	4679	田谷	スタンダード	10:00		6623	愛知電	名証	
	4685	菱友システム	スタンダード	17:00		6629	テクノHR	スタンダード	
	4709	IDHD	プライム	11:30		6632	JVCKW	プライム	15:00
	4752	昭和システム	スタンダード	16:00		6653	正興電機	プライム	15:00
	4761	サクラKCS	スタンダード	15:00		6737	EIZO	プライム	
	4762	エックスネット	スタンダード	16:00		6752	パナソニックH	プライム	
	4768	大塚商	プライム	15:30		6762	TDK	プライム	15:30
	4771	エフアンドエム	スタンダード	15:00		6770	アルプスアル	プライム	15:00
	4816	東映アニメ	スタンダード	15:30		6797	名古屋電	スタンダード	15:00
	4839	WOWOW	プライム			6798	SMK	プライム	13:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月30日	6832	アオイ電子	スタンダード	13:00		8700	丸八証券	スタンダード	15:00
	6864	エヌエフHD	スタンダード			8704	トレイダーズ	スタンダード	15:30
	6870	フェンオール	スタンダード	15:30		8739	スパークスG	プライム	16:00
	6888	アクモス	スタンダード			8793	NECキャピ	プライム	15:30
	6920	レーザーテック	プライム	15:45		8803	平和不	プライム	15:00
	6932	遠藤照	スタンダード	16:00		8818	京阪神ビ	プライム	15:00
	6946	日アビオ	スタンダード	18:00		8860	フジ住	プライム	14:00
	6960	フクダ電	スタンダード			8877	エスリード	プライム	13:00
	6961	エンプラス	プライム	15:00		9020	JR東日本	プライム	15:00
	6981	村田製	プライム	14:00		9023	東京メトロ	プライム	15:00
	7046	TDSE	グロース	15:00		9037	ハマキョウ	プライム	16:00
	7172	JIA	プライム	15:00		9040	大宝運輸	名証	
	7173	きらぼし	プライム	15:00		9042	阪急阪神	プライム	15:00
	7177	GMOFHD	スタンダード	15:31		9065	山九	プライム	15:30
	7218	田中精密	スタンダード	14:00		9110	ユナイテッド海	プライム	14:00
	7224	新明和	プライム	16:00		9219	ギックス	グロース	15:00
	7297	カーメイト	スタンダード	15:00		9267	ゲンキードラ	プライム	15:30
	7381	CCIG	プライム	13:00		9301	三菱倉	プライム	15:00
	7442	中山福	スタンダード	16:00		9311	アサガミ	スタンダード	15:00
	7475	アルビス	プライム	14:00		9325	ファイズHD	スタンダード	15:30
	7476	アズワン	プライム	16:00		9362	兵機海	スタンダード	16:00
	7483	ドウシシャ	プライム	15:30		9504	中国電	プライム	15:00
	7504	高速	プライム	15:30		9506	東北電	プライム	15:00
	7508	GセブンHD	プライム	15:30		9507	四国電	プライム	14:00
	7510	たけびし	プライム			9509	北海電	プライム	15:30
	7537	丸文	プライム	16:00		9511	沖縄電	プライム	13:00
	7570	橋本総HD	スタンダード			9513	Jパワー	プライム	17:00
	7575	日本ライフL	プライム	15:40		9539	葉ガス	スタンダード	15:00
	7625	ダイニング	スタンダード	15:30		9679	ホウライ	スタンダード	16:00
	7735	スクリン	プライム	15:00		9687	KSK	スタンダード	12:00
	7741	HOYA	プライム	13:00		9715	トランスコスモ	プライム	15:00
	7774	J・TEC	グロース	10:00		9742	アイネス	プライム	15:00
	7775	大研医器	スタンダード	16:00		9828	ゲンキGDC	スタンダード	
	7795	KYORITSU	スタンダード	15:00		9830	Tナカヤマ	プライム	13:00
	7844	マーベラス	プライム			9832	オートパックス	プライム	15:00
	7893	プロネクサス	プライム	15:30		9882	イエローハット	プライム	
	7896	セブンエ	スタンダード	13:00		9928	ミロク情報	プライム	16:00
	7897	ホクシン	スタンダード	16:00		9934	因幡電産	プライム	11:00
	7908	KIMOTO	スタンダード	17:00		9936	王将フード	プライム	15:30
	7942	JSP	プライム	15:00		9950	ハチバン	スタンダード	16:00
	7947	エフビコ	プライム	15:00		9962	ミスミG	プライム	15:00
	7988	ニフコ	プライム	13:00		9997	ペルーナ	プライム	15:30
	8005	スクロール	プライム	15:00					
	8014	蝶理	プライム	14:00					
	8035	東エレク	プライム	15:30					
	8046	丸藤パ	スタンダード	13:00					
	8052	橋本興	プライム	16:00					
	8076	カノークス	スタンダード	14:00					
	8084	RYODEN	プライム	16:00					
	8103	明和産	プライム	13:00					
	8119	三栄コボ	スタンダード	15:00					
	8133	エネクス	プライム	13:00					
	8137	サンワテクノス	プライム	15:30					
	8141	新光商	プライム						
	8157	都築電	プライム	12:00					
	8165	千趣会	スタンダード	15:00					
	8285	三谷産	スタンダード	14:00					
	8585	オリコ	プライム	15:30					
	8601	大和証G	プライム	11:30					
	8616	東海東京	プライム	11:00					

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
10月19日	ゴールドマン	6996	ニチコン	中立→買い格上げ	4100→4200
	野村	9987	スズケン	NEUTRAL→BUY格上げ	2785→3550
10月21日	モルガン	3087	ドトル日レス	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	3300→4000
10月22日	東海東京	1812	鹿島	OUTPERFORM新規	6200
	野村	8370	紀陽銀行	BUY新規	2190
10月23日	シティ	2212	山崎パン	1新規	4600
		2805	エスビー食	1新規	8500
		2914	JT	1新規	8700
		7806	MTG	1新規	11300

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
10月20日	JPモルガン	547A	ムニノバHD	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	560→450
	モルガン	7599	IDOM	OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ	2000→1000
10月21日	ゴールドマン	6506	安川電	買い→中立格下げ	5500→5000
10月23日	みずほ	4634	artience	買い→中立格下げ	4100→5250
	モルガン	6849	日本光電	EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ	1900→1500

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円/発表日)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円/発表日)	初値 (円)	主幹事	10/23終値 (円)
トグルホールディングス	652A	グロース	10/30	4,030～4,040	2,244,600	1,630,300	4,040	-	SMBC日興、 UBS、SBI	-
事業内容: 独自のAI技術を活用した再開発可能土地の仕入販売およびAIシステム/AIエージェント開発等										
MabGenesis	653A	グロース	11/2	800～830	940,700	1,345,200	830	-	東海東京	-
事業内容: ペット用抗体医薬品の研究開発										
Allganize Holdings	656A	グロース	11/4	1,250～1,260	658,100	2,954,900	10/26	-	SMBC日興、 大和	-
事業内容: 企業の業務自動化を支援するAIエージェント・生成AIプラットフォームの開発およびSaaS・オンプレミス形態での提供										
LTV-X	655A	名証ネクスト	11/5	550～570	367,000	333,000	10/26	-	Jトラストグ ローバル	-
事業内容: 各業界の事業者向けに顧客管理・マーケティングオートメーション・オペレーション業務を支援するクラウドシステム「LTV-Labシリーズ」「ふるさとLab」「LTV-Zaiko」等を開発・提供										
estie	658A	グロース	11/6	1,070～1,100	50,000	5,638,800	10/28	-	SMBC日興、 みずほ	-
事業内容: 不動産プラットフォーム事業(独自構築した商業用不動産データベースを活用したVertical Data ソリューション、エンタープライズ実装及び専門情報サービスの提供)										
RECEPTIONIST	660A	グロース	11/10	820～850	50,000	1,416,200	10/30	-	SBI	-
事業内容: クラウド受付システム「RECEPTIONIST」の提供等を行うクラウドサービス事業										
TOKIUM	664A	グロース	11/25	11/6	617,300	1,100,100	11/16	-	SMBC日興	-
事業内容: 経理領域における業務プロセスを丸ごと受託し、業務成果を納品する経理AIエージェント「TOKIUM」を顧客に提供										

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1860	戸田建	1435	1428.75	1263	2117	ウェルネオS	2812	2803	2640
2353	日駐	277	267.25	268.5	2359	コア	2164	2163	2036.5
2593	伊藤園	3298	2986.25	3228.5	2594	キーコーヒー	2006	1991.25	1991
2897	日清食HD	3095	3019.25	3000.5	2908	フジッコ	1614	1582	1602
2922	なとり	1972	1915	1969	3050	DCM	1605	1580.75	1525.5
3387	クリレスHD	798	752	756.5	3397	トリドール	4700	4311.25	4693.5
3561	力の源HD	1474	1464.25	1439.5	4543	テルモ	2399	2181.25	2370
4725	CACHD	2000	1910.25	1998	4763	C&R社	1486	1431	1468.5
6309	巴工業	1945	1939.75	1787.5	6436	アマノ	4081	3871.25	4069
6744	能美防災	4235	4153.75	3977.5	7421	カッパクリエ	1602	1571.5	1574
7821	前田工繊	2054	2019.5	1997	8153	モスフード	4220	4153.75	4010
8160	木曽路	2485	2453.5	2417	9001	東武	2905	2881.5	2804.5
9006	京急	1573	1551.5	1528	9502	中部電力	2620	2601.75	2309
9504	中国電力	1006	990.5	911	9716	乃村工芸	1281	1270.25	1149.5
9759	NSD	3255	2969.25	3160.5	9842	アークランズ	1911	1876	1859

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1433	ベステラ	1183	1185	1184	1515	日鉄鉱	2663	3195.75	2884.5
1959	クラブティア	7530	9361.5	7720	2768	双日	5222	6058	5351.5
3608	TSI HD	1169	1259.5	1239	3612	ワールド	1448	1532.25	1460
3778	さくら	2845	3236.5	3584	3939	カナミックN	490	530.25	492.5
3962	チェンジHD	922	979.5	1165	4046	大阪ソーダ	1924	2045.5	1965.5
4061	デンカ	2989	3412.25	3026	4093	邦アセチレン	408	440.25	418
4109	ステラケミファ	4710	5026.25	4745	4369	トリケミカル	2952	3126.75	3147.5
4554	富士製菓	1834	2203.5	1896	4819	Dガレージ	2410	2467.5	3546.5
4951	エステー	1506	1513	1539	4973	高純度化	4235	4702.5	4295
5423	東製鉄	1650	1698.75	1650.5	5445	東京鉄	1941	1976.75	1976.5
5659	日精線	1261	1343.5	1294.5	5706	三井金属	2079	3189	2341
5713	住友鉱	8001	9885.5	8190	5714	DOWA	7837	9371.5	8149
5805	SWCC	2203	2743	2435	5857	AREHD	3115	3790.5	3213
6078	バリューHR	1513	1526.75	1617.5	6141	DMG森精機	2648	2728.25	2984
6254	野村マイクロ	2891	3298.5	3091.5	6310	井関農	1640	1838.5	1742.5
6361	荏原製	3797	4807	4052.5	6363	西島製	2597	2878.25	2706
6383	ダイフク	5199	5938.5	5219	6387	サムコ	6940	8145	7064
6471	日本精工	989	1169.75	1016	6506	安川電	4022	4743.75	4232
6516	山洋電気	4865	5610	5138	6539	MS-Japan	989	1011	996
6616	トレックスセミ	1574	1780.75	1599	6728	アルバック	7358	9033.25	7971
6754	アンリツ	2718	3281.75	2815	6763	帝通工	2557	2801.75	2610.5
6787	メイコー	18400	23500	18925	6817	スミダ	1145	1206	1147
6849	日本光電	1553	1611.75	1651	6997	日ケミコン	1579	2000.5	1850
7004	カナデピア	1029	1088	1077	7261	マツダ	1085	1187.5	1109
7456	松田産	6000	6957.5	6030	7600	MDM	600	617.75	609.5
7628	オーハシテク	1101	1162.25	1118	7721	東京計器	5660	7552.5	6302.5
7730	マニー	1534	1676.25	1561.5	7731	ニコン	1702	1834.5	1707
7868	広済堂HD	515	536.75	525	8253	クレセゾン	4135	4273	4135.5
8729	ソニーフィナンシャル	145	149	1362	8793	NECキャピ	4025	4108.75	4035
8850	スターツ	4560	4971.25	4622.5	9065	山九	1632	1799.75	1634
9072	ニッコンHD	4138	4500	4143.5	9405	朝日放送HD	795	855.75	799.5
9984	ソフトバンクG	4276	4933	4360					

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	Tel: 082-245-5000	三 次 支 店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	Tel: 0824-62-3121
福 山 支 店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	Tel: 084-922-1321	可 部 支 店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	Tel: 082-815-2600
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	Tel: 086-222-1561	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	Tel: 082-277-2700
府 中 支 店	〒726-0004 府中市府川町335-1	Tel: 0847-45-8500	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	Tel: 082-422-3621
尾 道 支 店	〒722-0036 尾道市東御所町1-15	Tel: 0848-23-8121	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	Tel: 0829-31-6611
尾 道 支 店 今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	Tel: 0898-55-8280	岩 国 支 店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	Tel: 0827-22-3161
呉 支 店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	Tel: 0823-21-6401	徳 山 支 店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	Tel: 0834-31-5350
			徳 山 支 店 萩 営 業 所	〒758-0027 萩市吉田町51-11	Tel: 0838-25-2121
			宇 部 支 店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル	Tel: 0836-31-1105

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>